

# 「携帯電話の料金その他の提供条件」 に関する現状と課題

平 成 2 7 年 1 0 月 1 9 日  
事 務 局

# 目 次

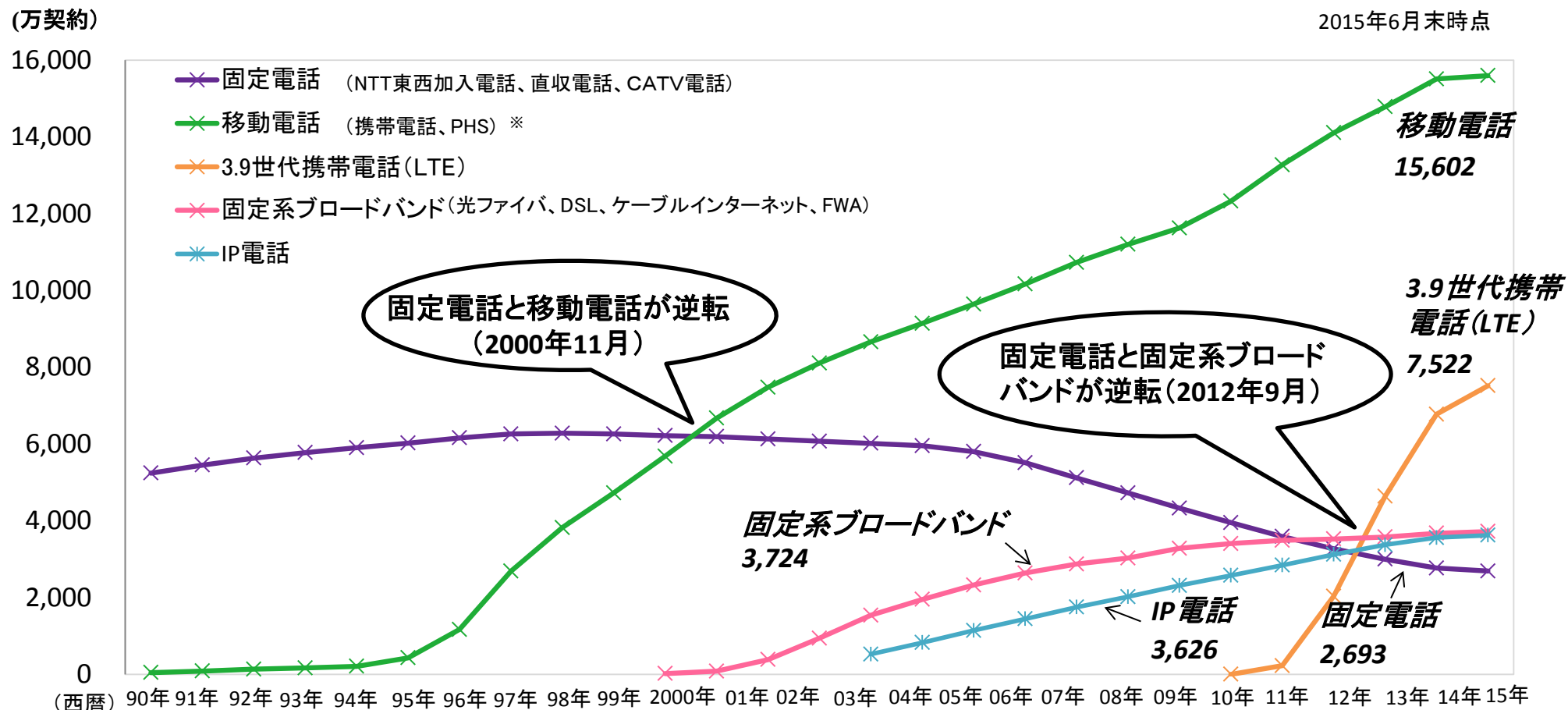
---

|                                 |      |
|---------------------------------|------|
| 1. 携帯電話市場の状況                    | P. 2 |
| 2. 携帯電話に関する制度の現状                | P.15 |
| 3. これまでの「携帯電話の料金その他の提供条件」に関する取組 | P.20 |
| 4. 携帯電話の料金負担の現状                 | P.32 |
| 5. 大手携帯電話事業者の料金プランの現状           | P.37 |
| 6. 携帯電話端末の販売・流通の現状              | P.45 |
| 7. MVNOの現状                      | P.63 |
| 8. 検討課題                         | P.73 |

# 1. 携帯電話市場の状況

# 電気通信サービスの契約数の推移

- 固定系：固定電話契約数は、2012年9月に固定系ブロードバンドに逆転され、1997年11月のピーク時（6,322万契約）の約4.3割に減少（2,693万契約）
- 移動系：移動電話の契約数は、2000年11月に固定電話を抜き、15年間で約3倍に増加（15,602万契約）

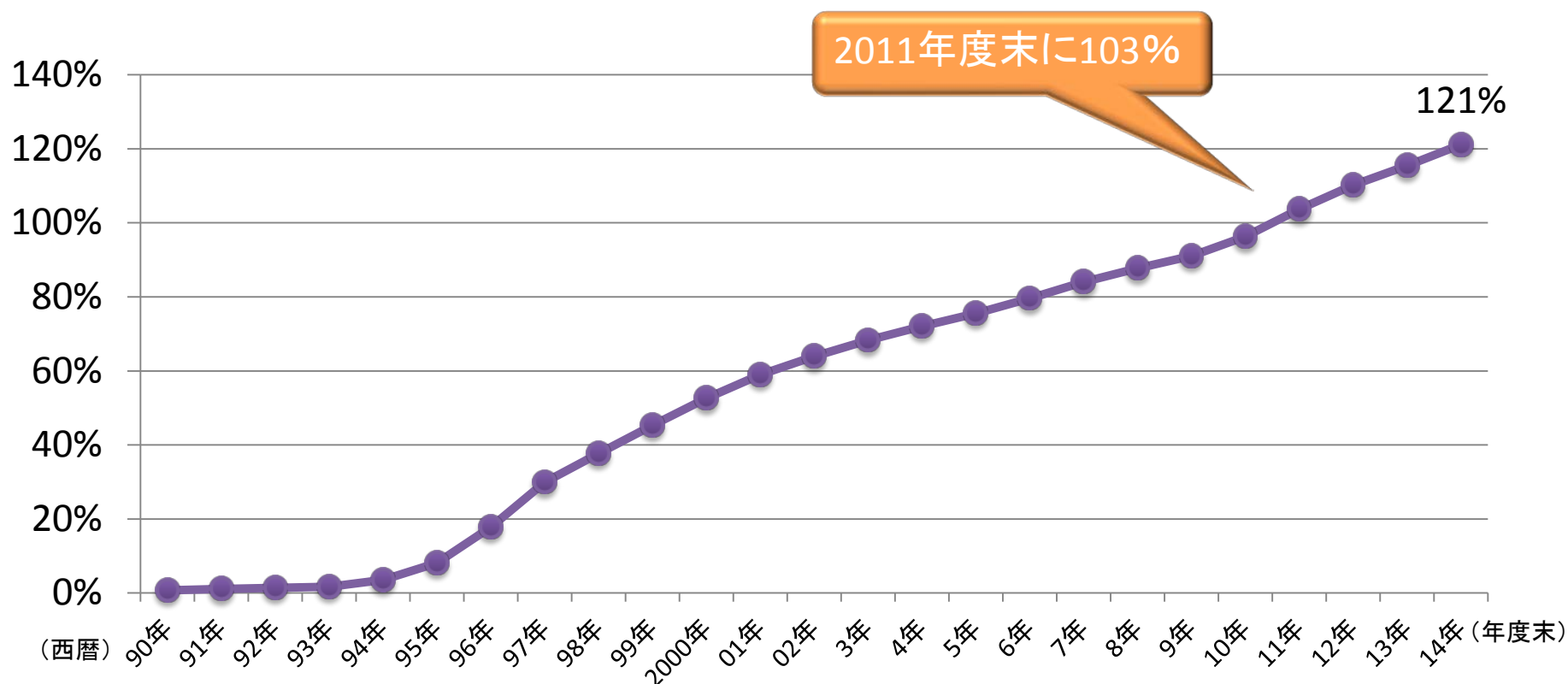


※ 2013年度第2四半期（9月末）以降は、グループ内取引調整後の契約数。

ただし2015年度第1四半期（6月末）においては、携帯電話サービス同士の事業者間のグループ内取引がなくなり、携帯電話の契約数については単純合算とグループ内取引調整後の数値は同数となっている。

# 携帯電話・PHSの普及率

□ 携帯電話・PHSの普及率は、2011年度末に100%を超え、2014年度末で121%。

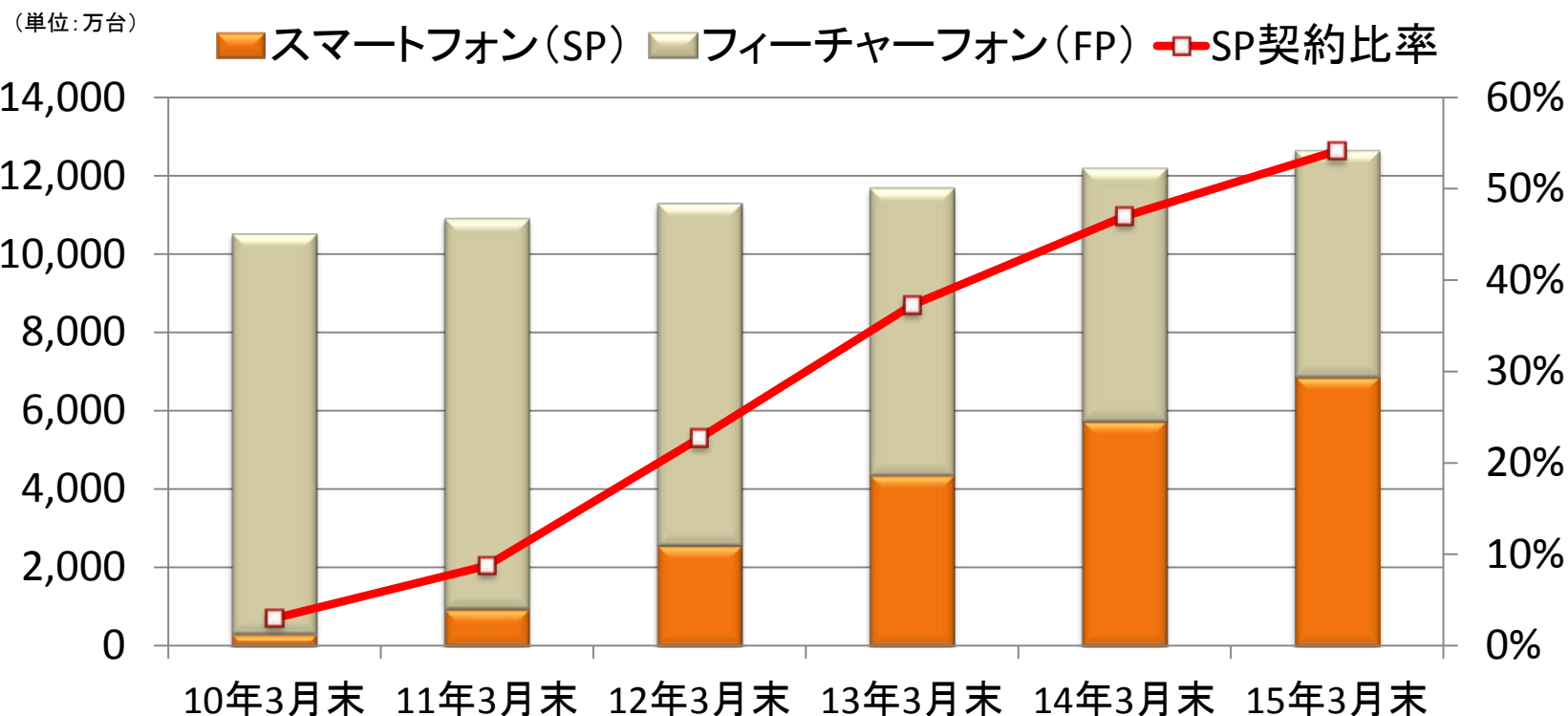


※1 携帯電話・PHSの契約数を人口数で除して算出。

※2 携帯電話・PHSの契約数は、総務省調べ。人口数は、総務省統計局国勢調査を使用。

# スマートフォン契約数の推移

- 民間調査会社の推計によれば、2015年3月末時点におけるスマートフォンの契約数は6,850万であり、フィーチャーフォンとの合計の過半数となっている。



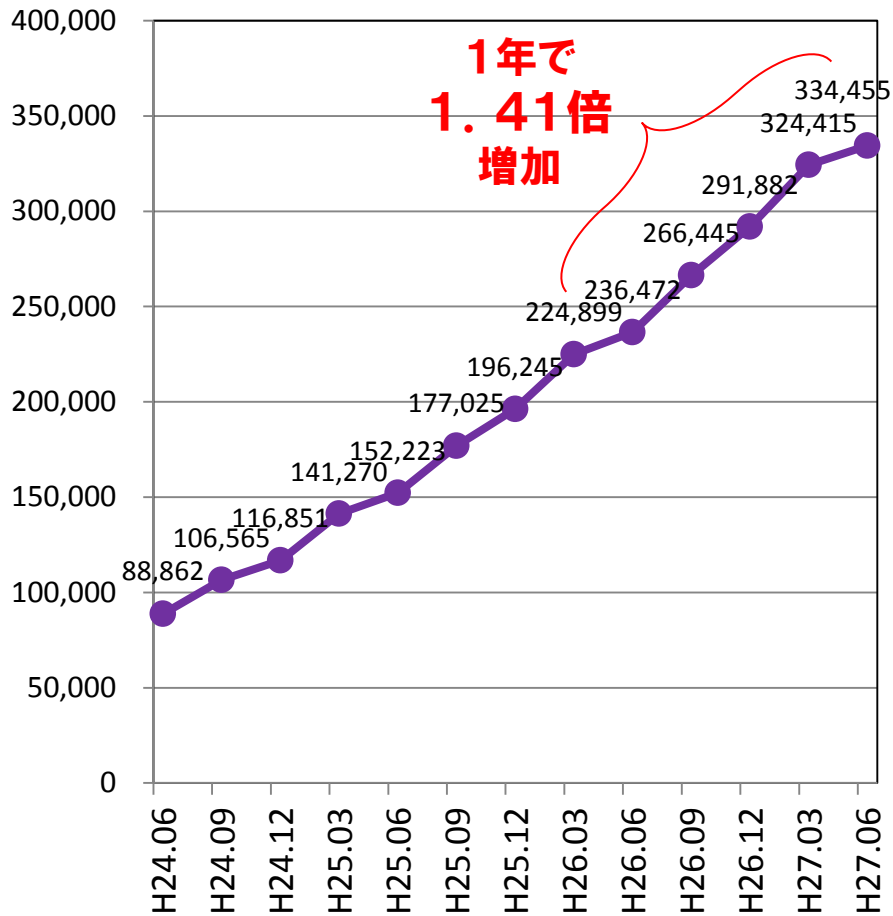
|                | 10年3月末 | 11年3月末 | 12年3月末 | 13年3月末 | 14年3月末 | 15年3月末 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| フィーチャーフォン (FP) | 10,212 | 9,957  | 8,736  | 7,335  | 6,468  | 5,801  |
| スマートフォン (SP)   | 315    | 955    | 2,568  | 4,358  | 5,734  | 6,850  |
| 合計 (FP+SP)     | 10,527 | 10,912 | 11,304 | 11,693 | 12,202 | 12,651 |
| SP契約比率         | 3.0%   | 8.8%   | 22.7%  | 37.3%  | 47.0%  | 54.1%  |

# 移動通信トラフィックの推移(過去3年間)

- 移動通信トラフィック※は、1加入者当たり月間延べトラフィックで1,921MB(1.9GB)と1年で1.25倍に増加している。

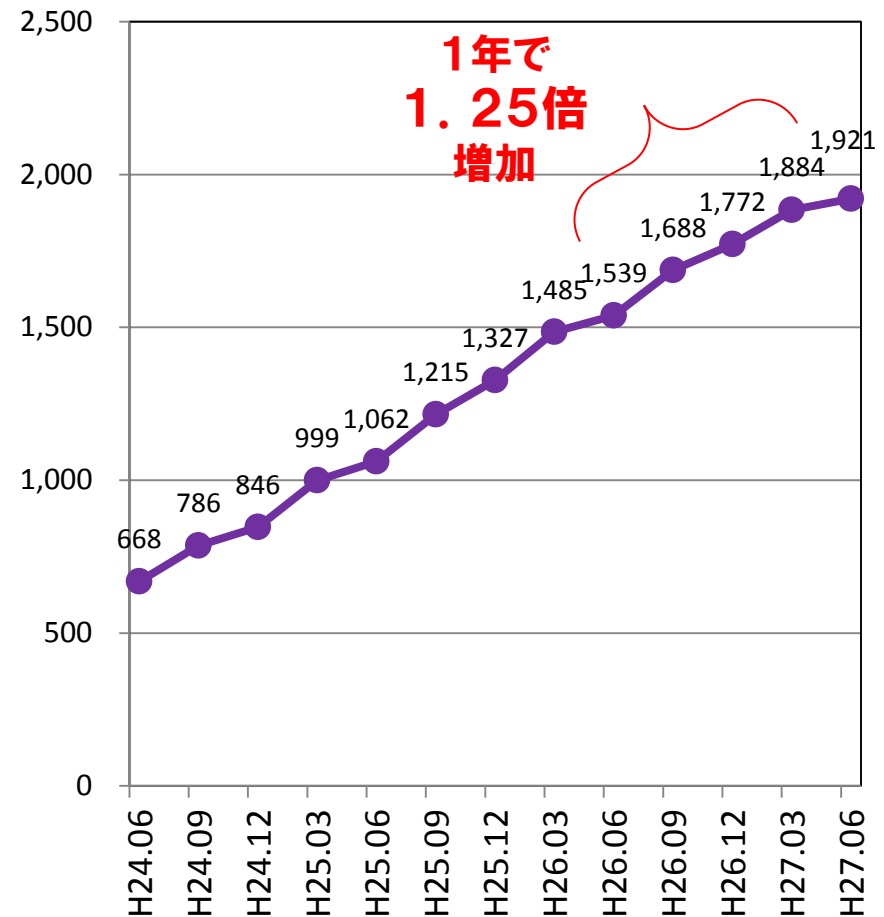
(TB)

月間延べトラフィック



(MB)

1加入者当たり月間延べトラフィック



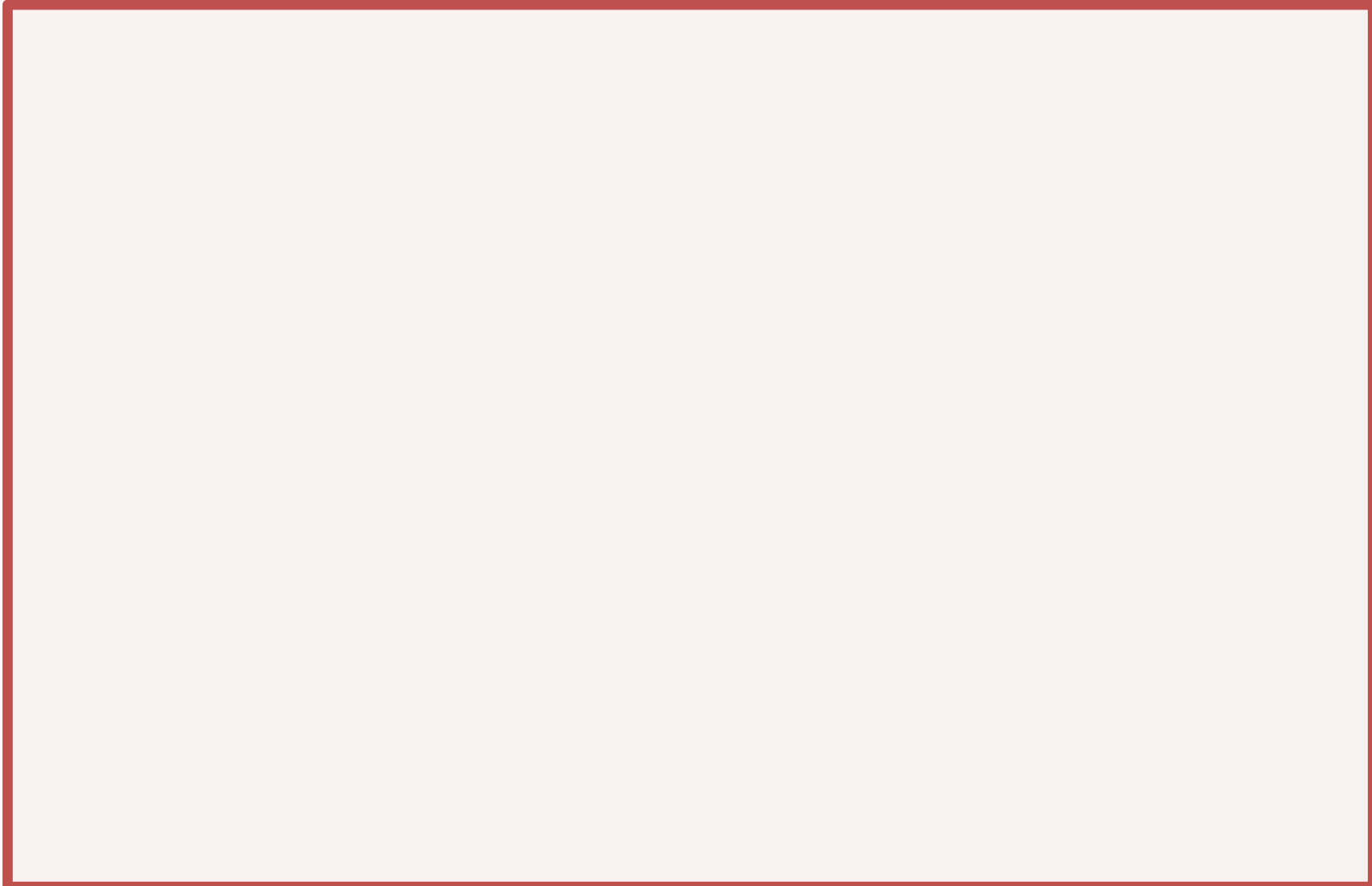
※ 移動通信事業者5者(NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、UQコミュニケーションズ、Wireless City Planning)の協力を得て、移動通信のトラフィック量(非音声)のデータを集計・分析したもの。

出典:我が国の移動通信トラフィックの現状

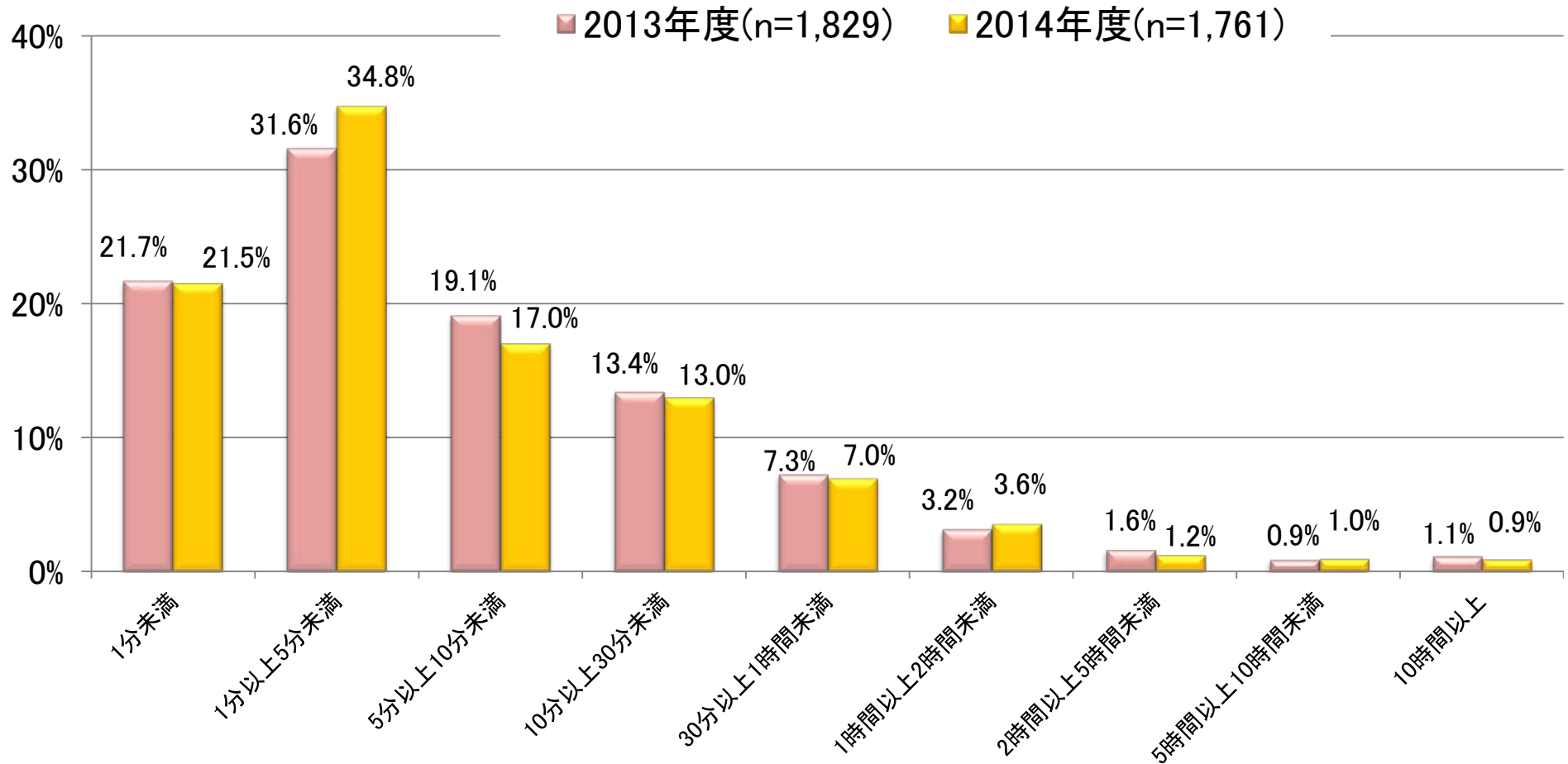
- 大手携帯電話事業者3社の3. 9Gの契約に係る契約毎の月間データ通信量の分布では、1GB未満の利用者が多くを占める。

#### 契約毎のデータ通信量の分布

赤枠内は構成員限り



- 携帯・PHSの通話利用時間(発信)について、1週間当たり5分未満(56%)及び10分未満(73%)の利用者が全体の大半を占めている。



# 現在の携帯電話市場の競争状況

- 現在の携帯電話市場は、MNOの契約数シェアが均衡しつつあり、事業主体が実質的に3グループに収れんしている。

## NTTドコモ(市場支配的事業者)

(携帯電話等シェア42.7% ※<sup>1</sup>)

NTT docomo

## KDDI グループ

(携帯電話等シェア28.8% ※<sup>1</sup>)

au

UQ  
WiMAX

UQコミュニケーションズ

## ソフトバンク グループ = SoftBank

(携帯電話等シェア28.5% ※<sup>1</sup>)

WIRELESS  
CITY  
PLANNING

Wireless City Planning

ネットワークの貸出し(接続・卸)

@nifty

mineo

M  
V  
N  
O ※<sup>2</sup>  
(シェア  
6.3  
% ※<sup>3</sup>)

AEON MOBILE

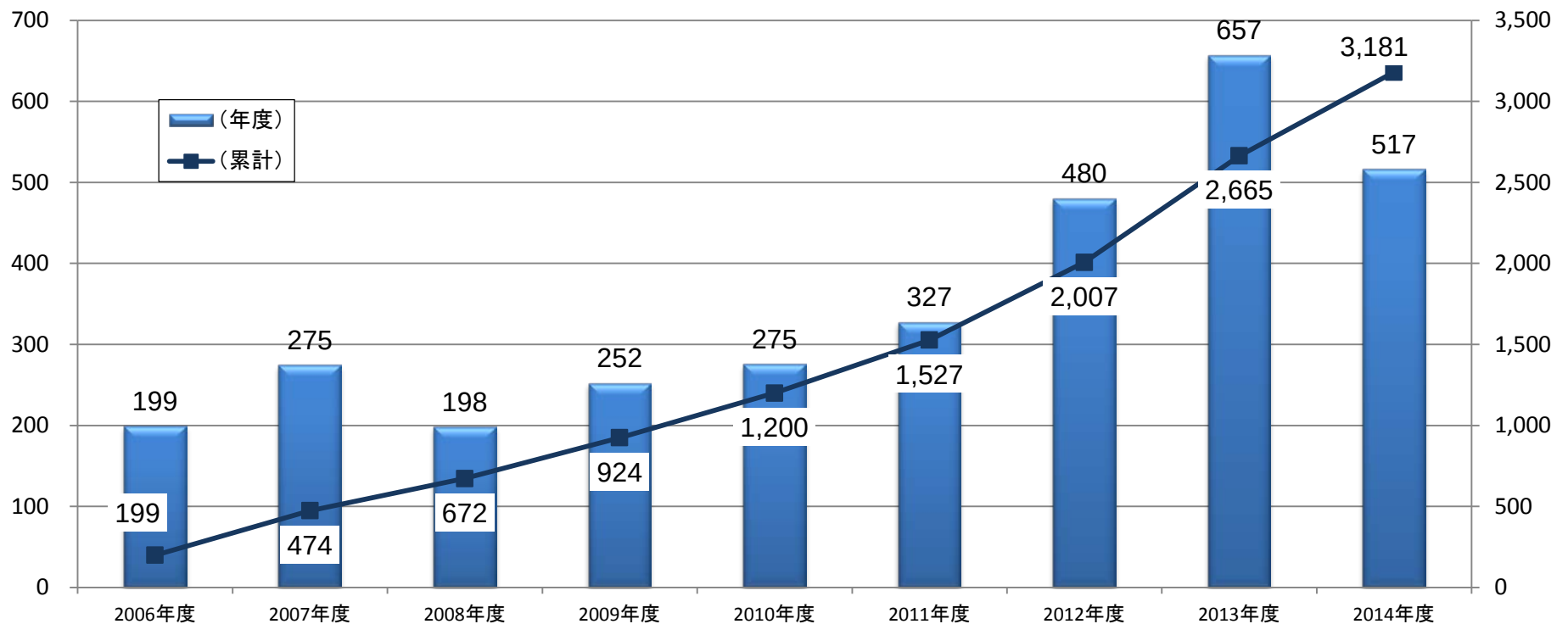
IIJ  
Internet Initiative Japan

BIGLOBE

(シェアは2015年6月末時点)

- ※<sup>1</sup> 各グループの携帯電話等シェアはグループ内取引調整後の数値。単純合算の場合のシェアは、NTTドコモ37.8%、KDDIグループ31.0%、ソフトバンクグループ31.2%。
- ※<sup>2</sup> MVNO (Mobile Virtual Network Operator) :  
電波の割当てを受けてサービスを提供する電気通信事業者から無線ネットワークを借りて、独自のモバイルサービス(例：カーナビを通信に接続し最新地図や音楽をダウンロードするもの)を提供する電気通信事業者。
- ※<sup>3</sup> MVNO (MNOであるMVNOを除く) サービスの契約数÷移動系通信の契約数

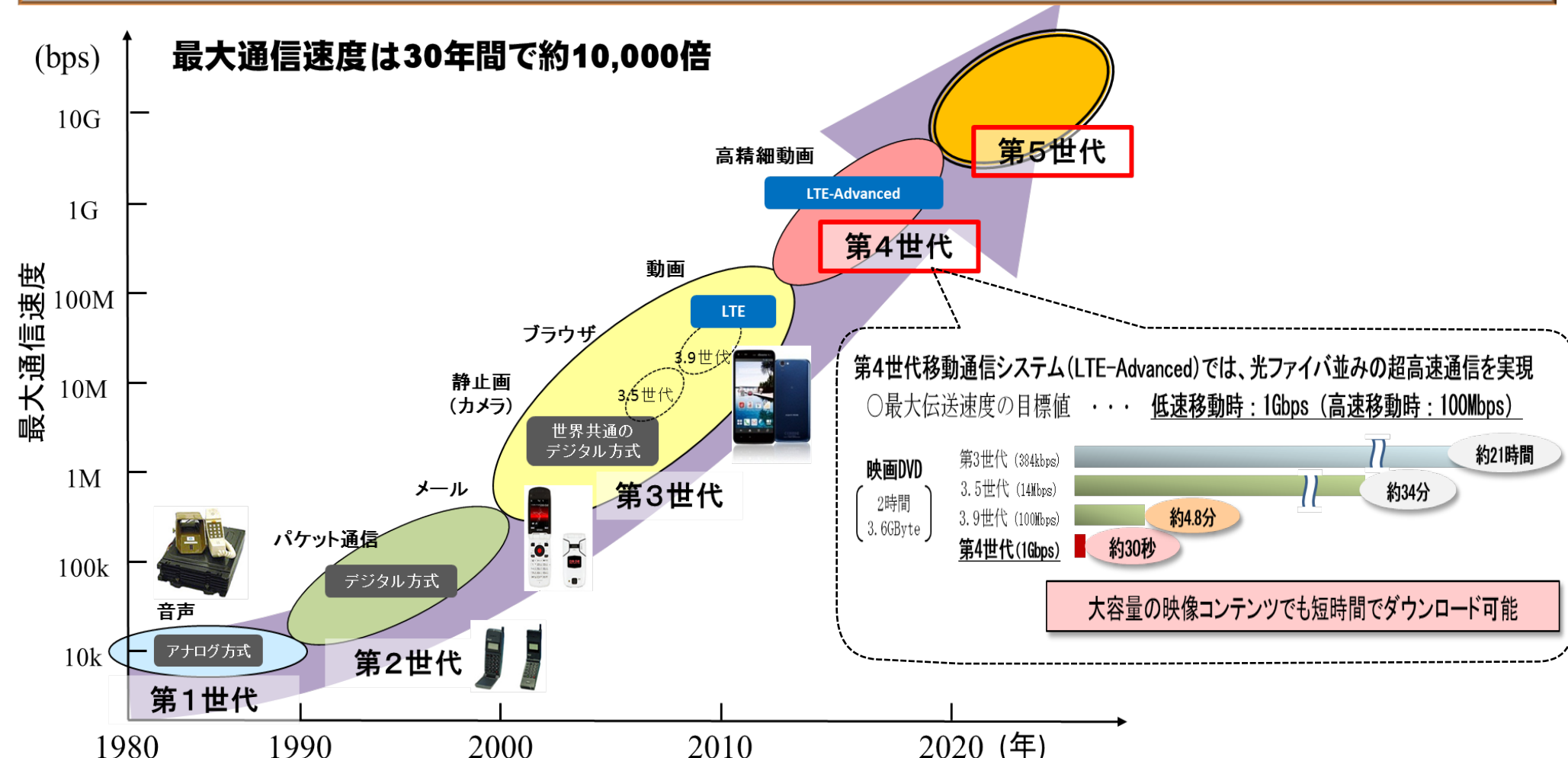
□ MNP※の利用数は、2008年度から2013年度まで増加していたが、2014年度には減少して517万番号となっている。



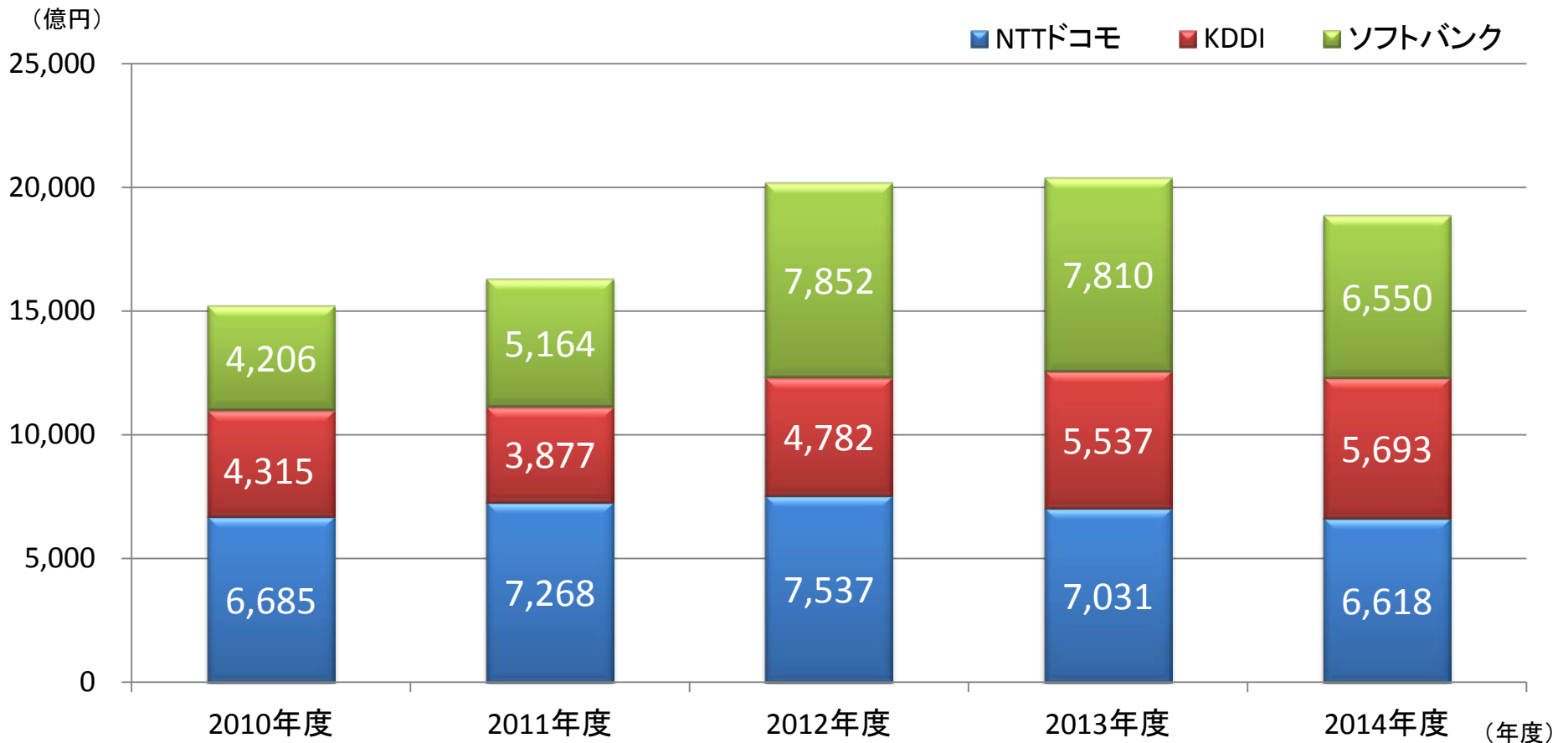
(単位: 万番号)

※ MNP (Mobile Number Portability) : 電話番号を変更せずに携帯電話事業者を乗り換える制度。2006年10月より開始。

- 携帯電話等の移動通信システムは、需要の増大、ニーズの多様化・高度化とともに進化を続け、超高速化・大容量化等が進展。現在は第3世代システムで、特に3.9世代と呼ばれるLTE(Long Term Evolution)方式が主流になりつつある状況。
- 2014年12月に、第4世代移動通信システム(LTE-Advanced)の導入のための周波数について3者(NTTドコモ、KDDIグループ及びソフトバンク)に対し割当てを完了。



- 大手携帯電話事業者の設備投資額は、2010年度から2013年度にかけて増加した後、2014年度は減少している。



※1 設備投資額は連結ベースの数値

※2 KDDI及びソフトバンクは、固定通信事業等も含む。

※3 設備投資額には、無形固定資産への設備投資も含む。

※4 ソフトバンクの数値は、スプリント事業の設備投資額を除く。

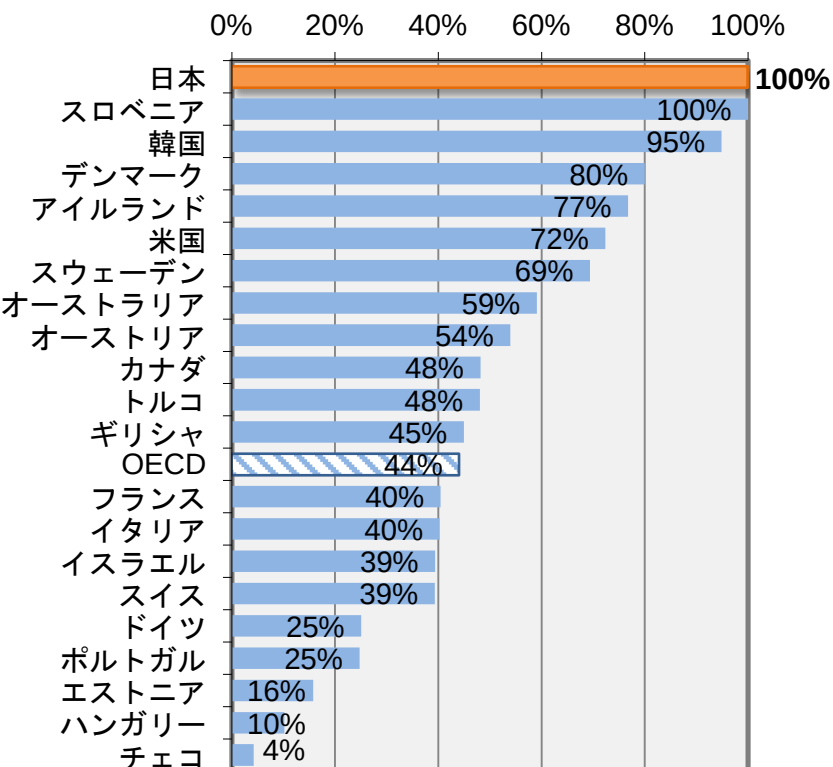
出典：各社決算資料より作成

# ICT基盤(移動系)の海外比較

- 日本では、10年間で携帯3社合計15.1兆円の設備投資を実現。その結果、3Gでは、2012年に世界に先駆けて人口カバー率100%を実現。また、LTEでも現在、3社とも人口カバー率90%以上を実現(2014年3月現在 ※各社申告)。
- 主要国における人口に占めるLTE契約数の割合については、韓国の77.4%(3,902万)、米国の60.1%(1億9,176万)に次いで日本は第3位の57.7%(7,342万)。(世界全体のLTE契約数は7億6,363万。)

## 3G携帯の契約比率

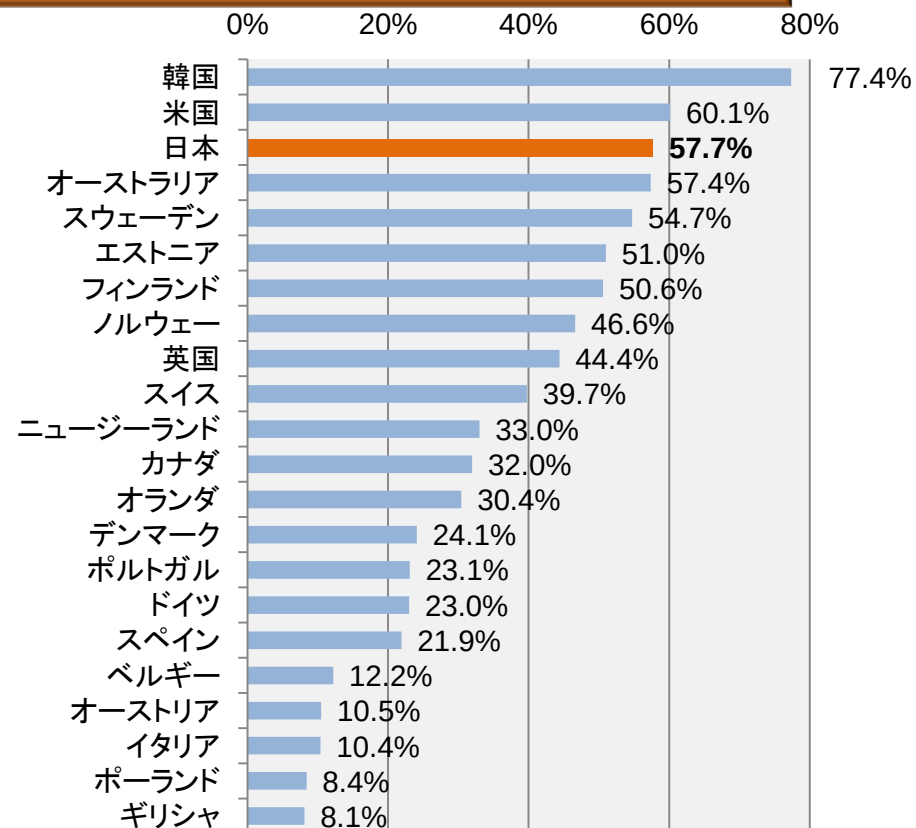
(2011年12月末)



※英国の3G携帯の契約比率は52.4%。(出典:「TeleGeography」)

## 主要国における人口に占めるLTE契約数の割合

(2015年6月末)



出典:LTE契約数はTeleGeography(2015年6月末現在)、  
人口はTHE WORLD BANK(2014年)を基に総務省作成

# 海外の主要携帯電話事業者との比較(財務状況)

14

(2014年度、単位:億円)

|                     | NTTドコモ           | KDDI               | ソフトバンク             | ベライゾン<br>(携帯部門) | AT&T<br>(携帯部門)     | ボーダフォン              | オレンジ              | ドイツ<br>テレコム         |
|---------------------|------------------|--------------------|--------------------|-----------------|--------------------|---------------------|-------------------|---------------------|
|                     | 日本               | 日本                 | 日本                 | 米国              | 米国                 | 英国                  | 仏国                | ドイツ                 |
| 売上高                 | 43,834           | 45,731             | 86,702             | 106,578         | 89,974             | 76,895              | 58,379            | 92,734              |
| 営業利益                | 6,391            | 7,413              | 9,827              | 32,540          | 20,826             | 3,582               | 6,765             | 10,766              |
| 売上高<br>営業利益率        | 14.6%            | 16.2%              | 11.3%              | 30.5%           | 23.1%              | 4.7%                | 11.6%             | 11.6%               |
| 当期純利益               | 4,101            | 4,280              | 7,637              | 14,538          | 7,926              | 10,775              | 1,813             | 4,801               |
| 利益剰余金<br>(前年度からの増減) | 43,972<br>(+688) | 25,861<br>(+2,944) | 17,407<br>(+5,724) | 2,976<br>(+809) | 33,727<br>(▲4,140) | ▲90,080<br>(+3,562) | 3,216<br>(+7,711) | ▲58,879<br>(+3,472) |
| 設備投資額               | 6,618            | 5,693              | 13,548             | 12,786          | 13,842             | 16,748              | 9,173             | 10,635              |

※1 海外の主要携帯電話事業者の会計年度については、2014年1月1日から2014年12月31日（ボーダフォンについては2014年4月1日から2015年3月31日）。

※2 KDDI、ソフトバンク、ボーダフォン、オレンジ及びドイツテレコムは、固定通信事業等も含む。

※3 ベライゾン及びAT&Tの当期純利益及び利益剰余金は固定通信事業等も含む。

※4 海外の主要携帯電話事業者の数値は、各社会計年度末時点の為替レートを用いて、円換算している。

1米\$=121.6円、1€=148.0円(2014年12月31日時点)。1£=182.1円(2015年3月31日時点)。

※5 ソフトバンクの設備投資額は、スプリント事業の設備投資額を含む。

出典: 各社決算資料から総務省作成

## 2. 携帯電話に関する制度の現状

# 電気通信事業法における料金規制の変遷

昭和60年 電気通信事業法施行 新規競争事業者参入

■電気通信サービスの料金は事前認可制

認可制

平成7年 電気通信事業法改正

■移動体通信料金を届出制へ移行

届出制

平成10年 電気通信事業法改正

■長距離、国際料金等を届出制へ移行

平成12年 プライスキャップ規制運用開始

■平成10年の法改正を受け、NTT東西の加入電話、ISDN、専用サービス等の料金について  
プライスキャップ規制の適用を開始

平成16年 電気通信事業法改正  
特定の役務を除き、原則、事前規制撤廃

【特定の役務】

- 基礎的電気通信役務：契約約款を作成し総務大臣に届出
- 指定電気通信役務：保障契約約款を作成し総務大臣に届出
- 特定電気通信役務：プライスキャップ規制の対象

原則、事前規制撤廃

- 電気通信事業法における料金規制については、事前規制(認可制・届出制)を撤廃している。
- 料金その他の提供条件については、原則、競争を通じて適正性を確保することとしているが、事後的規制として業務改善命令を規定。

## ○電気通信事業法（昭和59年法律第86号）

（業務の改善命令）

第二十九条 総務大臣は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、電気通信事業者に対し、利用者の利益又は公共の利益を確保するために必要な限度において、業務の方法の改善その他の措置をとるべきことを命ずることができる。

一～三 （略）

四 電気通信事業者が提供する電気通信役務(基礎的電気通信役務又は指定電気通信役務(保障契約約款に定める料金その他の提供条件により提供されるものに限る。))を除く。次号から第七号までにおいて同じ。)に関する料金についてその額の算出方法が適正かつ明確でないため、利用者の利益を阻害しているとき。

五 電気通信事業者が提供する電気通信役務に関する料金その他の提供条件が他の電気通信事業者との間に不当な競争を引き起こすものであり、その他社会的経済的事情に照らして著しく不適當であるため、利用者の利益を阻害しているとき。

六 電気通信事業者が提供する電気通信役務に関する提供条件(料金を除く。次号において同じ。)において、電気通信事業者及びその利用者の責任に関する事項並びに電気通信設備の設置の工事その他の工事に関する費用の負担の方法が適正かつ明確でないため、利用者の利益を阻害しているとき。

七 電気通信事業者が提供する電気通信役務に関する提供条件が電気通信回線設備の使用の態様を不当に制限するものであるとき。

八～十一 （略）

十二 前各号に掲げるもののほか、電気通信事業者の事業の運営が適正かつ合理的でないため、電気通信の健全な発達又は国民の利便の確保に支障が生ずるおそれがあるとき。

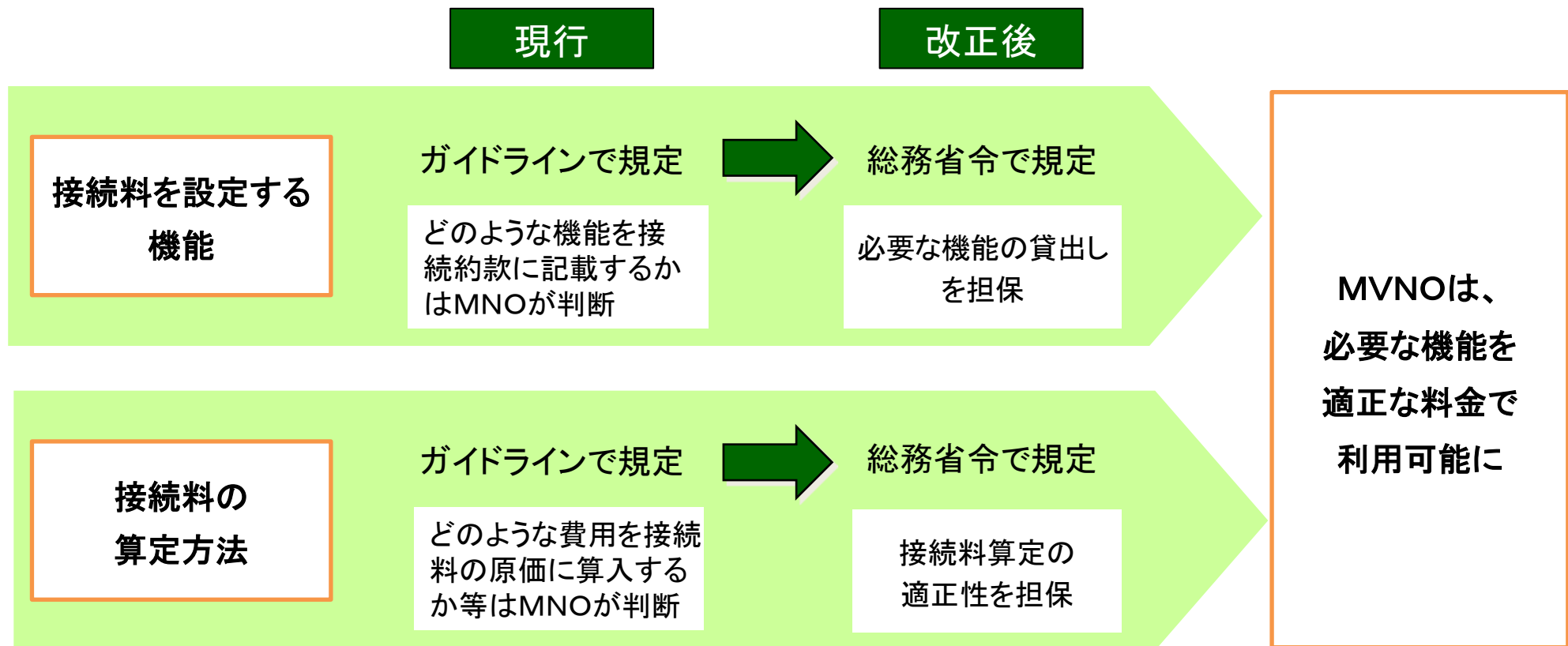
2 （略）

- 第二種指定電気通信設備制度は、相対的に多数のシェアを占める者が有する「接続協議における強い交渉力」に着目し、接続料等の公平性・透明性、接続の迅速化等を担保する観点から非対称規制として設けられた制度。

|                          | 二種指定設備制度                                                                                                                                                                                                              | (参考)一種指定設備制度                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 接続料・条件の<br>適正性           | ■ 接続約款の策定義務 (接続料・条件の設定義務)                                                                                                                                                                                             | ■ 接続約款の策定義務 (接続料・条件の設定義務)                                                                                                                                                                                                                        |
|                          | ■ 接続約款は総務大臣への事前届出制                                                                                                                                                                                                    | ■ 接続約款は総務大臣の認可制                                                                                                                                                                                                                                  |
|                          | <p>＜適正性要件の概要＞ (接続約款変更命令の規定で担保)<br/>           (○アンバンドル機能については、ガイドラインで規定)<br/>           ○接続条件について、<br/>           ・事業者間の責任に関する事項が適正・明確<br/>           ・役務の料金を定める事業者の別が適正・明確<br/>           ・不当な差別的取扱いをするものでないこと 等</p> | <p>＜適正性要件の概要＞ (総務大臣の認可要件として担保)<br/>           ○総務省令で定める機能ごとに接続料を設定<br/>           ○接続条件について、<br/>           ・事業者間の責任に関する事項が適正・明確<br/>           ・役務の料金を定める事業者の別が適正・明確<br/>           ・不当な差別的取扱いをするものでないこと<br/>           ・接続請求に係る手続等が適正・明確 等</p> |
| 接続料・条件の<br>透明性           | 接続約款の公表義務                                                                                                                                                                                                             | 接続約款の公表義務                                                                                                                                                                                                                                        |
| 接続料・条件の<br>公平性<br>接続の迅速性 | 他事業者と接続協定を締結する際、一律に届出接続約款を適用する義務                                                                                                                                                                                      | 他事業者と接続協定を締結する際、一律に認可接続約款を適用する義務                                                                                                                                                                                                                 |

- MNOの接続ルールを規律する二種指定設備制度では、接続料を設定する機能やその算定方法は、二種指定事業者※がガイドラインに基づき任意に定めており、事業者間協議が長期化するなどの課題。
- 2015年の電気通信事業法の改正により、接続料を設定する機能やその算定方法を総務省令で定められるようにすることによって、MVNOの迅速な事業展開を可能とし、移動通信市場の競争を促進。

※ 端末シェアが10%を超える電気通信事業者(NTTドコモ、KDDI、沖縄セルラー、ソフトバンク)が対象。



### 3. これまでの「携帯電話の料金その他の提供条件」に関する取組

## モバイルビジネス研究会報告書(2007年9月)

### 販売奨励金について留意すべき課題

#### ① 支払う料金が、通信への対価か、端末への対価か不透明

端末価格の一部が通信料金により回収されていることについて利用者に認知されていない



利用者から見て “何に対する負担であるのか” がわからない

#### ② 利用期間により負担が不公平

販売奨励金を通信料金で回収する現行方式においては、端末価格を回収した後においても通信料金の水準が下がらない



頻繁に端末を買い換える利用者の負担は軽減される一方で、長く端末を使用する利用者は、端末価格の支払いを終了した後も、引き続き、通信料金において端末価格の一部を負担

### 報告書の提言

端末価格と通信料金の区分の明確化(分離プランの導入)

通信料金・端末価格の透明性・公平性の確保、利用者にとっての選択の幅の拡大を目的として、端末価格と通信料金が区分された分離プラン等を2008年度を目途に部分導入する方向で検討することが望ましい。

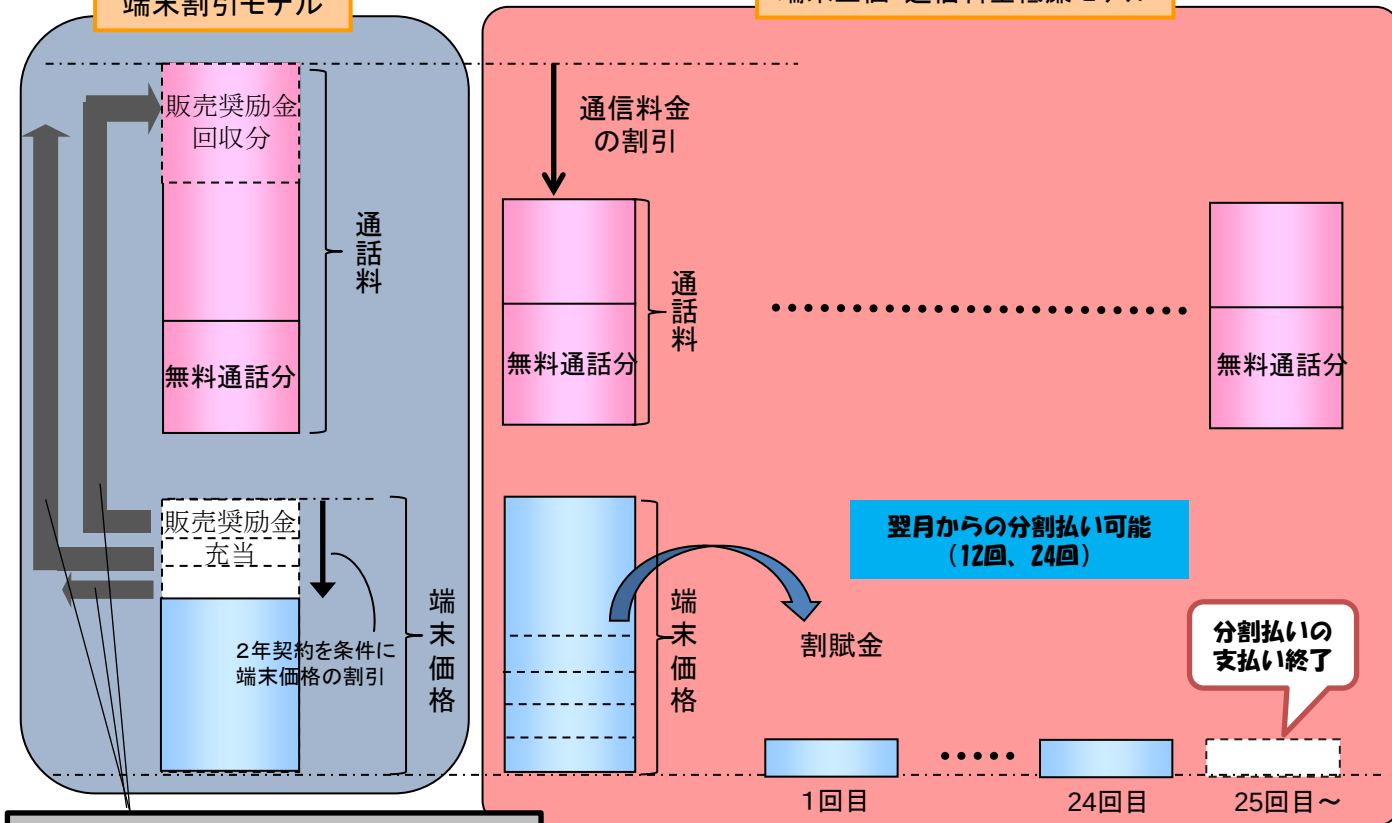
- 2007年9月のモバイルビジネス研究会における報告書を受けた総務省の要請を踏まえ、大手携帯電話事業者は、これまでの端末価格が安い代わりに通信料金が高いプラン（端末割引モデル）に加えて、端末価格の割引が無い代わりに通信料金が安いプラン（バリュープラン、シンプルプラン、ホワイトプラン※）の提供を開始。また、端末の割賦販売が導入された。

※ ソフトバンクはモバイルビジネス研究会開催以前の2006年9月からスーパーボーナス（割賦代金相当額を割引。同年10月から「新スーパーボーナス」に改定）、2007年1月からホワイトプラン（2年契約を条件とした安い基本料金）を提供。ドコモ・KDDIはこれに追随し、2007年7、8月より2年契約による割引を提供。

**docomo au** (2007年11月～)

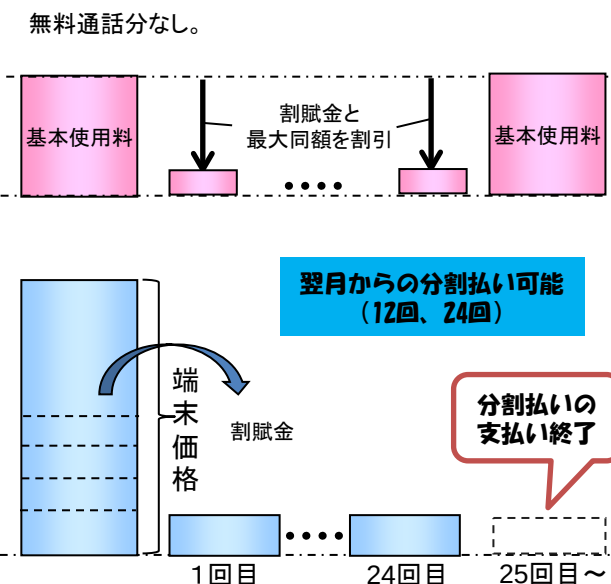
端末割引モデル

端末正価・通信料金低廉モデル



**SoftBank** (2007年1月～)

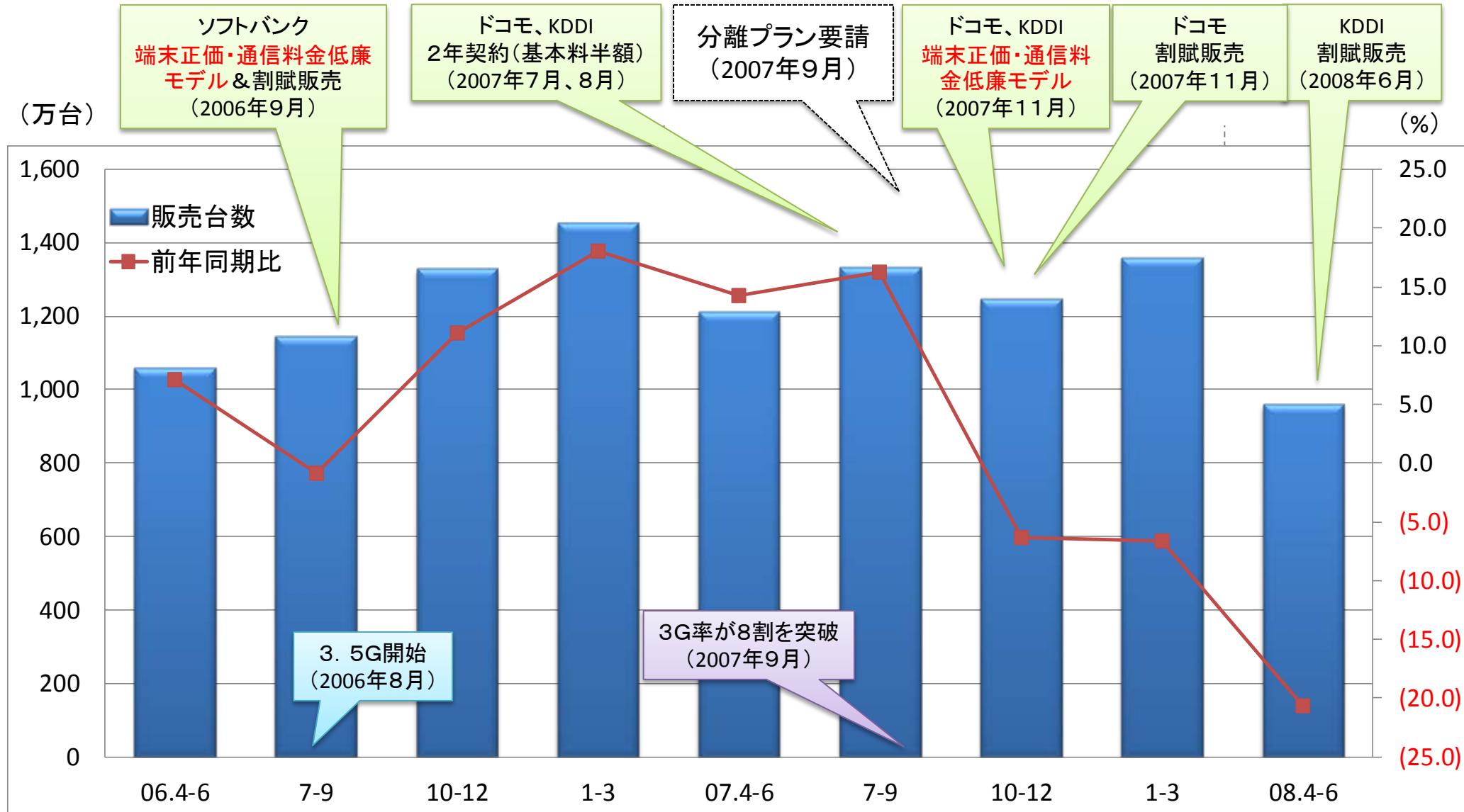
端末正価・通信料金低廉モデル



奨励金コストを月々の基本使用料に上乗せして徴収

# 分離プランの導入を受けた端末販売等の状況

23



## モバイルサービスの料金体系

- 利用実態に合った多様な料金プランの導入が適当。

・各事業者は、データ通信料金について、利用者のデータ通信量分布に応じた多様な料金プランを提供することが適当。  
 ・具体的な料金プランの設定に当たっては、次の2点を満たしていることが必要。

- ① データ通信量に応じた多段階のプランが設定されていること
- ② データ通信量の平均値や分布を勘案すること

- また、総務省においては、各事業者における利用者一人当たりのデータ通信量の分布及び対応した料金プランの設定状況について定期的に報告を求めることが適当。
- 音声通話についても、今後、VoLTEの導入が予定される中、利用しやすいサービス及び料金プランについて、各事業者において引き続き検討が行われることが適当と考えられる。

## 販売奨励金等の在り方

- 販売奨励金やこれを原資としたキャッシュバックについて問題があると考えられるが、ワーキンググループのヒアリングにおいて事業者から自主的に適切化を図る旨の表明があったこと等から、現時点において、直接規制することは適当ではなく、SIMロック解除等の競争環境整備を通じて適正化を促すことが適当。
- 販売奨励金等の状況について、携帯電話事業者に定期的な報告を求めるとともに、利用者がその条件を正確に理解できるよう、キャッシュバック等に必要となる条件について、適切な説明を行うことが適当。

## SIMロック解除等

- 携帯電話事業者が利用者の端末にかけているSIMロックについて少なくとも一定期間経過後は、利用者の求めに応じ迅速、容易かつ利用者の負担なく解除に応じることが適当。
- 「SIMロック解除に関するガイドライン」の改正に当たっては、ガイドラインの実効を確保することを前提とした検討が必要。(対象端末等の具体的な運用指針やスケジュールを明らかにすることが適当。)
- また、端末のアフターサービスについて、利用者への対応に当たる体制を明確にするとともに、インターネット利用における青少年保護が適切に図られるよう、課題の整理を行うことが適当

- 携帯大手3社は、データ通信料金の多様化を軸とする新料金プランを発表、適用を開始(2014年6月～)。

## 従来型の料金プラン

(税抜)

| 事業者名          | NTTドコモ                                       | KDDI、SBM                                                    |
|---------------|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 基本料           | 743円                                         | 934円<br>(1～21時の自網内通話無料)                                     |
| 通話料金<br>(従量制) | 20円/30秒                                      | 20円/30秒                                                     |
| データ<br>通信料金   | 3GBまで: 4,700円<br>7GBまで: 5,700円               | 7GBまで: 5,700円                                               |
| 備考            | <自網内通話24時間定額><br>・NTTドコモ: Xiカケホーダイ<br>(667円) | <自網内通話24時間定額><br>・KDDI: au通話定額(477円)<br>・SBM: 定額オプション(477円) |



## 新料金プラン(スマートフォンの場合)

(税抜)

| 事業者名                      | NTTドコモ                                            | KDDI                                                        | SB                                                                             |
|---------------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 基本料<br>(国内通話のかけ<br>放題を含む) | 2,700円                                            | 2,700円                                                      | 2,700円                                                                         |
| データ<br>通信料金               | 2GB                                               | 3,500円                                                      | 3,500円                                                                         |
|                           | 3GB                                               | —                                                           | —                                                                              |
|                           | 5GB                                               | 5,000円                                                      | 5,000円                                                                         |
|                           | 8GB                                               | 6,700円                                                      | —                                                                              |
|                           | 10GB<br>(2.5GB)※                                  | 9,500円<br>(2,375円)※                                         | 9,500円<br>(2,375円)※                                                            |
| 特徴                        | ・10GB以上のプランで家族間<br>でデータ通信量をシェア可能。<br>・2014年6月1日開始 | ・3GB、8GBのプランも提供<br>・データ通信量を家族に融通<br>可能。<br>・2014年8月13日提供開始。 | ・10GB以上のプランで家族間<br>でデータ通信量をシェア可能。<br>・残った通信量を翌月に繰り<br>越し可能。<br>・2014年7月1日提供開始。 |

※ 括弧内は家族4人でデータをシェアする場合の一人当たりのデータ使用量及び月額料金。

- 第4世代移動通信システムの開設計画の認定(2014年12月)に当たっては、電波政策ビジョン懇談会の議論等を踏まえて策定された開設指針に基づき、人口カバー率に加え、利用者の通信量需要に応じた多様な料金設定を行う計画を有すること等を絶対審査基準として審査して割り当てた。

## 電波政策ビジョン懇談会※(中間とりまとめ(2014年7月))

※座長:多賀谷一照(獨協大学法学部教授)

- これまでも割当てに際しては、電波の公平かつ能率的な利用を通じて公共の福祉を増進する観点から、サービスの提供エリアの広さや設備の安全・信頼性を確保するための対策の充実度などを評価の対象としてきたところであり、4Gの割当てに際してもこうした考えは維持されるべきである。
- 構成員からは、全国に3.9万人の携帯電話の不感地域の解消や消費者ニーズに合致する料金やサービスメニューの提供を促す意見が提起されたところであり、今後はこうした指摘についても考慮をしつつ、・・・割当方針の検討を進めるべきである。



## 第4世代移動通信システムの開設指針(2014年9月)

### <絶対審査基準>

- 認定から4年後の年度末までに、各総合通信局の管轄区域内の人口カバー率※が50%以上になるように特定基地局を配置しなければならない。  
※約500m四方の区域ごとにエリア化の有無を判定して算出
- 携帯電話の免許を有しない者(MVNO)に対する卸電気通信役務又は電気通信設備の接続の方法による基地局の利用を促進するための計画を有していること
- 提供しようとするサービスについて、**利用者の通信量需要に応じ、多様な料金設定を行う計画を有すること**
- 申請者のグループ関係にある法人等がこの割当てに対する申請を行っていないこと

### <競願時審査基準>

- 認定から4年後の年度末における、特定基地局の人口カバー率(5%刻み。以下同じ。)がより大きいこと
- 特定基地局の運用に必要な電気通信設備に係る次に掲げる対策その他電気通信設備の安全・信頼性を確保するための対策に関する具体的な計画がより充実していること(①人為ミスの防止、②設備容量の確保、③ソフトウェアバグの防止)
- 申請者に指定済周波数を割り当てていないこと又は申請者に割り当てている周波数※の幅に対する当該周波数に係る電気通信役務の契約数※がより大きいこと ※ 周波数を一体運用する他の携帯電話事業者又はBWA事業者がある場合、当該事業者の周波数及び契約数を通算する。
- 認定から2年後の年度末における特定基地局又は指定済周波数を使用する基地局によるエリア外人口の解消数がより多いこと(100人単位で多寡を比較)

## スマートフォンの料金体系の多様化

- 安心・安全研究会報告書等の提言を受け、本年3月に電気通信事業報告規則を改正し、携帯電話事業者における利用者1人当たりのデータ通信量の分布及び対応した料金プランの契約数について定期的に報告を求めることとした。

携帯電話事業者には、携帯電話サービスの各利用者が1ヶ月間に利用するデータ通信量の分布及び料金プランごとの契約数を四半期毎に総務省に報告すること。  
(2015年度第1四半期から報告開始)

## 販売奨励金等の在り方

- 安心・安全研究会報告書等の提言を受け、本年3月に電気通信事業報告規則を改正し、携帯電話事業者の販売奨励金等の支払総額の報告を受けることとした。

携帯電話事業者は、販売代理店等への支払総額と、そのうち販売奨励金の総額を四半期ごとに報告すること。  
(2015年1～3月分から報告開始)

## 改正ガイドラインの策定

「SIMロック解除に関するガイドライン(2010年6月策定)」について改正案を作成し、2014年11月1日から12月1日までパブリックコメントを実施。これらの意見を踏まえて、2014年12月22日に改正ガイドラインを公表。

## 考え方、解除の方法等

- 電気通信事業者が**正当な理由なくSIMロックの解除に応じないこと**により、電気通信の健全な発達又は利用者の利益の確保に支障が生じるおそれがあるときには、**電気通信事業法に基づく業務改善命令の対象**になることを明示。
- SIMロック解除の対象となる端末は、汎用的に通話やデータ通信を行うための端末(いわゆるフィーチャーフォン、スマートフォン、タブレット、モバイルルーター及びUSBモデム)。
- SIMロック解除の手続は、可能な場合はインターネット経由や電話による手続を行うなど、迅速かつ容易な方法によって、**無料で行うことが原則**※。

※ ただし、端末の割賦代金の不払いや短期での転売等を防止するため、最低限必要な期間SIMロック解除に応じない等の措置を講じることは可能。

事業者は、SIMロック解除の対象となる端末や手続を定めた**運用方針**を予め定め公表。

## 留意すべき事項

事業者が留意すべき事項として、①利用者に説明すべき事項及びその方法、②SIMロック解除端末に関する利用者の問合せ窓口等の明確化、③技術基準適合性の確認等について規定。

## ガイドラインの適用等

- ガイドラインは、2015年5月1日以降新たに発売される端末に適用。
- 総務省は、ガイドラインの適用後の状況を踏まえ、必要に応じガイドラインを見直すとともに、所要の対応を実施。

# (参考) SIMロックの概要

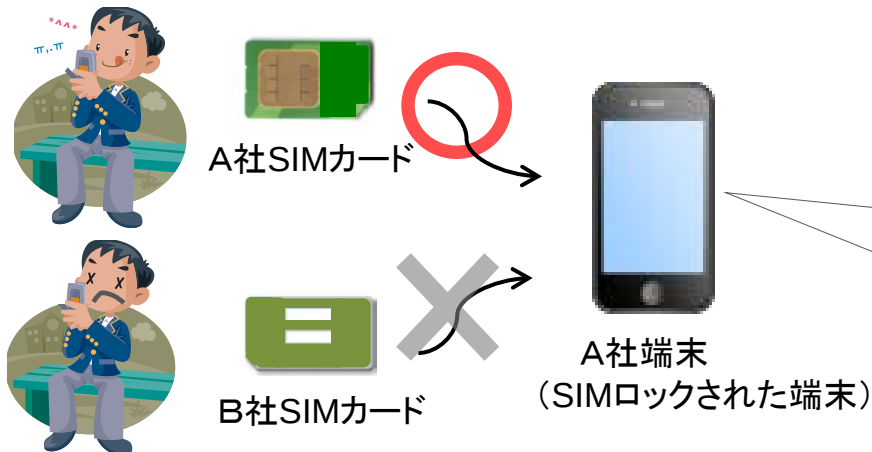
## SIM (Subscriber Identity Module)カード

- 携帯電話事業者が発行する、利用者が通信サービスを受けるためのICカードで、携帯電話端末に差して利用。
- SIMカードには電話番号などの契約者情報※が記録されており、携帯電話端末をネットワークに接続する際の認証に用いられる。
- 日本では、携帯電話事業者が、端末にあらかじめ自社のSIMカードを差して販売するのが一般的。

※ SIMカードに記録されている情報：加入者の電話番号、国際携帯電話加入者識別番号（IMSI: International Mobile Subscriber Identity）

## SIMロック

- 携帯電話事業者が、（自社のSIMカード等）特定のSIMカードが差し込まれた場合にのみ動作するよう端末を設定すること。それ以外のSIMカードを挿して通信を行うためには、SIMロックの解除が必要。
- 利用者が携帯電話事業者を乗り換える際には、SIMロックにより端末が使用できなくなるため、新たに端末を購入することが必要。このため、SIMロックは、スイッチングコストを増加させ、これが新規顧客獲得の際の多額のキャッシュバックの一因となるとともに、料金やサービス内容の差別化による競争を阻害。
- 海外渡航時、国際ローミングよりも低廉な通信料金で通信できる手段として、現地の携帯電話事業者のSIMを使用する方法があるが、SIMロックのかかった端末では海外で現地の携帯電話事業者のSIMカードに差し替えても通信できない。



A社の端末は、A社のSIMカードが差し込まれたときのみ動作。  
(B社のSIMカードを差し込んでも動作しない。)

- NTTドコモ及びKDDIにおいて本年4月22日に、ソフトバンクにおいて本年5月19日にSIMロック解除の対応について発表。

| 事業者                                      | NTTドコモ                                                          | KDDI                                        | ソフトバンク                                   |
|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|------------------------------------------|
| 1. 対象端末                                  | 2015年5月1日以降に新たに発売する端末                                           | 2015年5月1日以降に新たに発売する端末                       | 2015年5月1日以降に新たに発売する端末                    |
| 2. 解除制限期間                                | 端末購入日から6ヶ月間<br>※ 過去に解除したことがある場合、その時点から6ヶ月経過していれば即解除可能。(契約継続が前提) | 端末購入日から180日間                                | 端末購入日から180日間                             |
| 3. 解除手続き方法                               | ・インターネットによる受付<br>・電話による受付<br>・店頭受付                              | ・インターネットによる受付<br>・店頭受付                      | ・インターネットによる受付<br>・店頭受付                   |
| 4. 解除手数料                                 | ・インターネットによる受付: 無料<br>・電話による受付: 3,000円(税抜)<br>・店頭受付: 3,000円(税抜)  | ・インターネットによる受付: 無料<br>・店頭受付: 3,000円(税抜)      | ・インターネットによる受付: 無料<br>・店頭受付: 3,000円(税抜)   |
| 5. SIMロック解除対応端末数<br>(2015年5月1日以降発売された端末) | スマホ: 8機種<br>タブレット: 3機種<br>フィーチャーフォン(※): 2機種                     | スマホ: 9機種<br>タブレット: 3機種<br>フィーチャーフォン(※): 1機種 | スマホ: 6機種<br>タブレット: 1機種<br>フィーチャーフォン: 2機種 |

※Android OSを搭載した機種を含む。

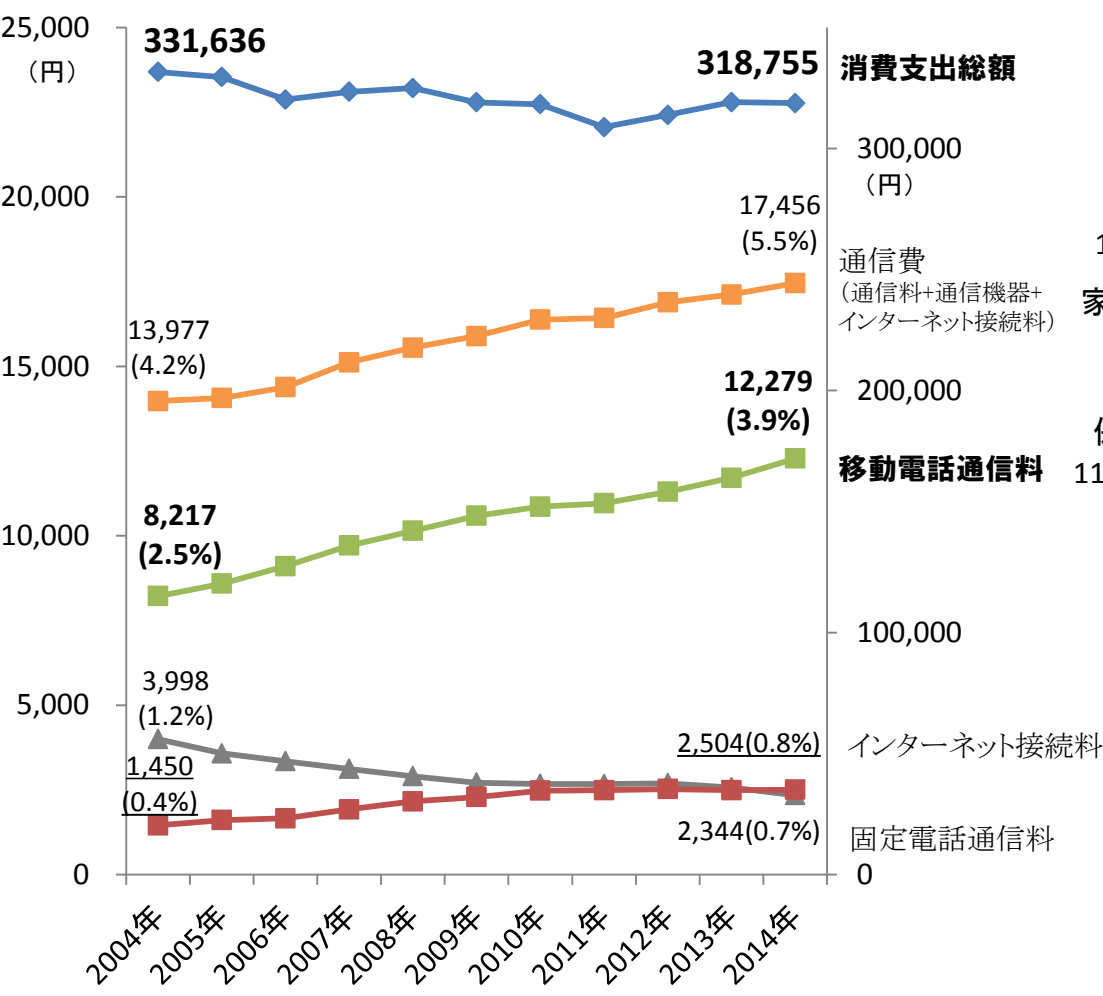
- 本年7月16日、ICTサービス安心・安全研究会で「一定の方向性」をとりまとめた報告を公表。
- まずは電気通信事業者自らが自主的に自らのサービスの改善に取り組むことを期待。改善が期待できない場合は、総務省において「ガイドライン」の策定を検討。

## 主な提言

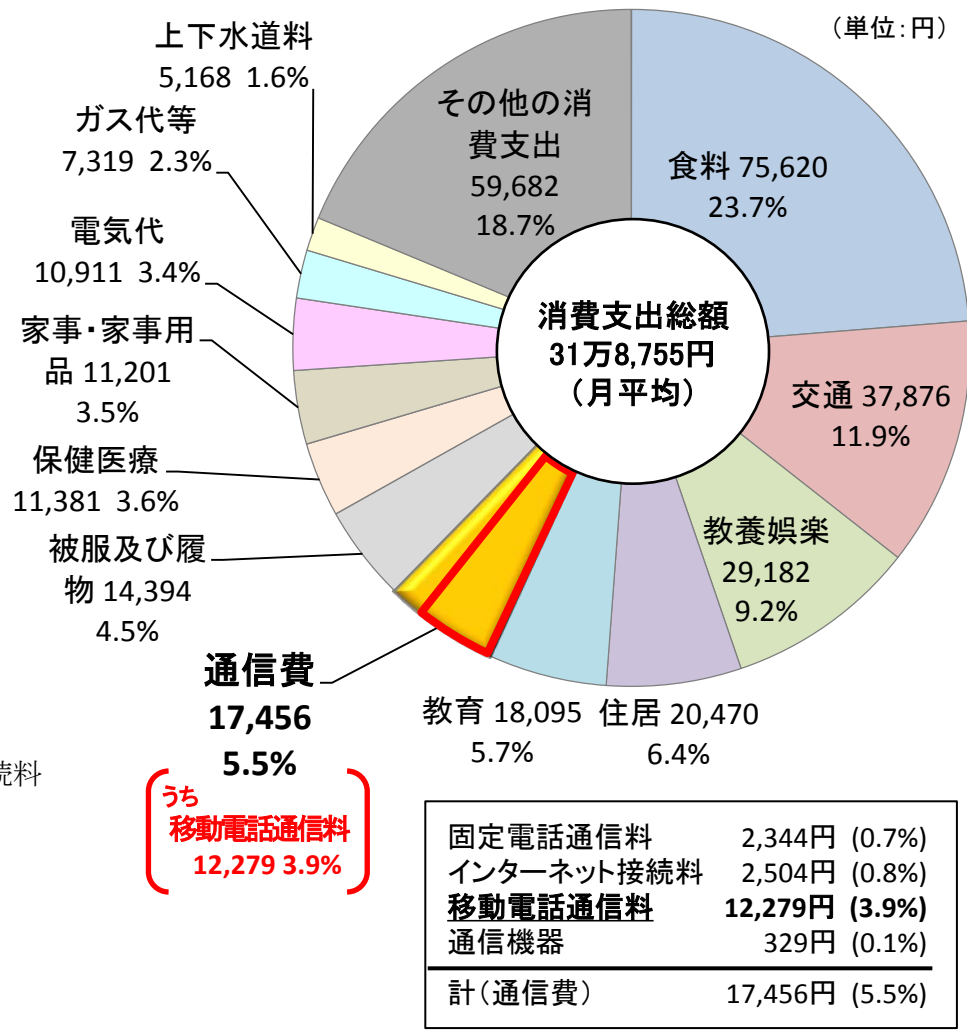
- ① 期間拘束のないプランの契約率が著しく低い(携帯では約1割)こと、店頭等での説明の実態(アンケートでは約5割)等を総合的に判断すれば、「**利用者の選択**」は実質的に機能していないのではないかと？
  - 期間拘束のないプランについて、事業者は「**十分な説明**」、「**料金水準の検討**」が必要。
- ② 一律の違約金の算定が合理的ではないのではないかと？
  - 公平な負担にも配慮し、事業者は**加入期間に応じて「段階的に逡減」**させる方法を検討することが望ましい。
  - **入院や海外赴任などの場合**は、事業者において違約金の支払いなく解約できる運用とすることが望ましい。
- ③ 技術革新や競争環境の変化が激しい電気通信分野において、利用者は、将来の市場の状況を見通した上で合理的選択をすることは困難。**長期間の拘束契約は、利用者の合理的選択を妨げているのではないかと？**
  - (主に光回線サービスで3年以上の契約があるが)事業者は、**拘束期間の短縮**について検討が必要。
  - 事業者は「**期間拘束が自動更新しないプラン**」を設けることが**適当**  
(現行プランの見直し／新たなプランの新設)

## 4. 携帯電話の料金負担の現状

消費支出における通信費(推移)



消費支出における通信費(2014年)



出典:総務省「家計調査」

# 2014年度 電気通信サービスに係る内外価格差に関する調査(携帯電話)

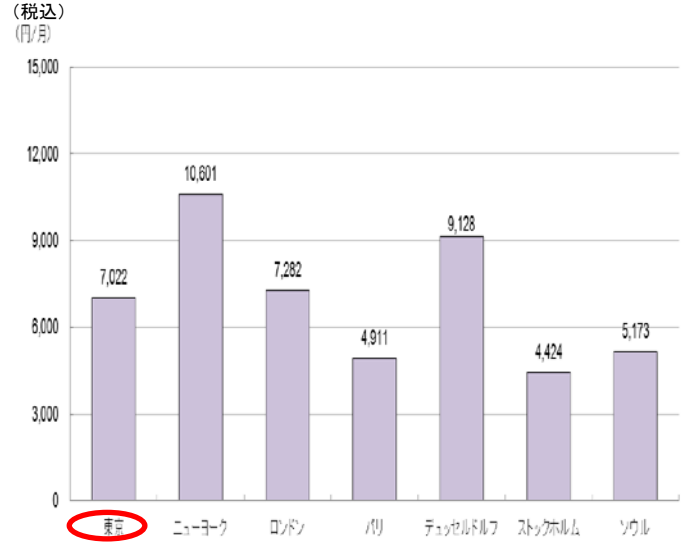
※ ユニバーサルサービス料を含む。

- フィーチャーフォンユーザー——音声のみ月73分利用（NTTドコモ・3G）  
… 東京：1,622円<最安…ストックホルム：1,214円、最高…ロンドン：6,093円>
- スマートフォンユーザー—— 音声・メール・データ利用（NTTドコモ・LTE）
  - ◆ スマートフォンユーザA（音声月36分、メール月129通、データ月2GB）  
… 東京：7,022円<最安…ストックホルム：4,424円、最高…ニューヨーク：10,601円>
  - ◆ スマートフォンユーザB（音声月36分、メール月129通、データ月5GB）  
… 東京：8,642円<最安…ストックホルム：5,904円、最高…ニューヨーク：14,096円>

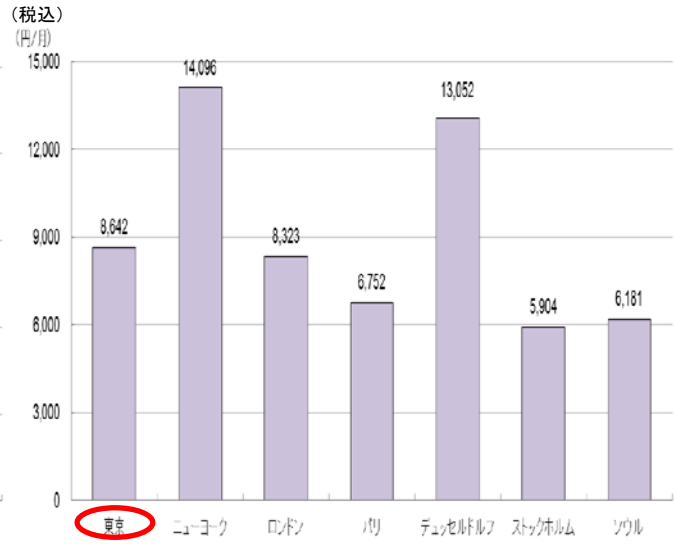
フィーチャーフォンユーザー



スマートフォンユーザA



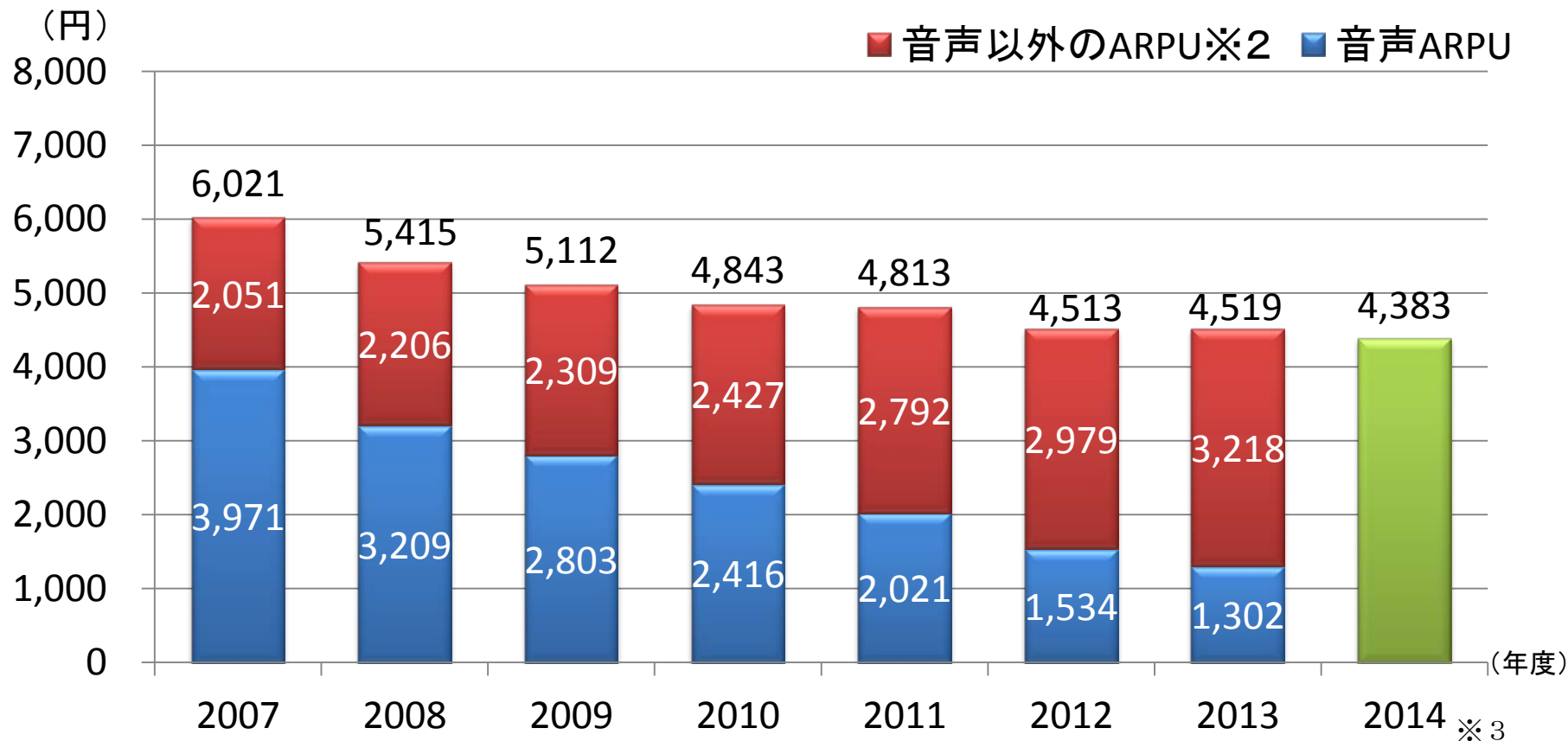
スマートフォンユーザB



※ 音声（月73分、月36分）は「平成25年度通信量からみた我が国の音声通信利用状況」（総務省、2014年11月）等、メール（月129通）は「2014年度携帯電話の利用実態調査」（一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 移動通信委員会、2014年7月）に基づき設定。データ通信はNTTドコモの新料金プランを参考に設定。

# 一契約当たりの売上高(ARPU)の状況

- 大手携帯電話事業者3社の加重平均のARPU※<sup>1</sup>は減少傾向。
- 音声以外のARPUは年々上昇している。



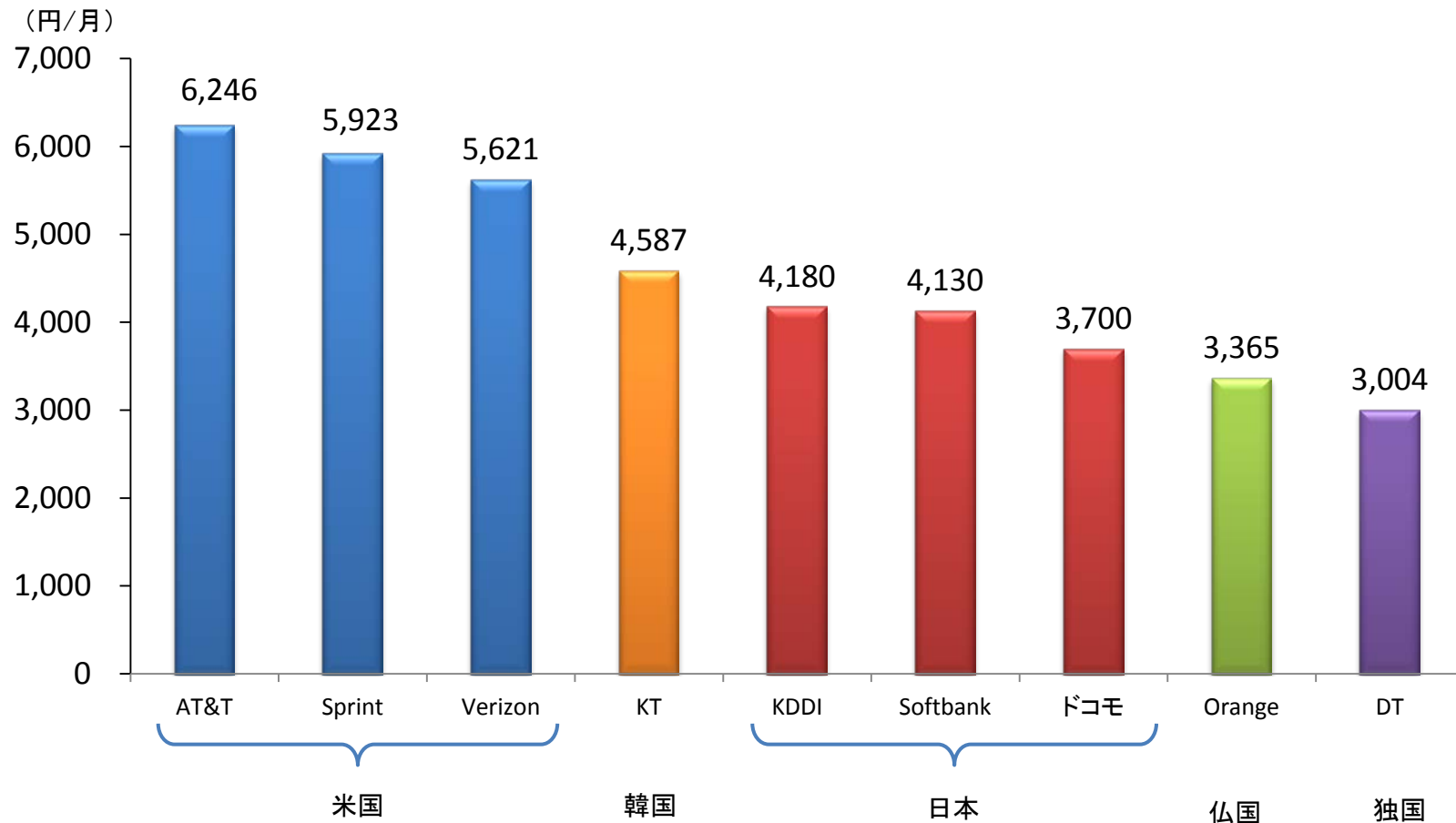
※<sup>1</sup> NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクの携帯電話サービスにおけるARPUを年度ごとに各年度末の各社契約数を用いて、加重平均している。

※<sup>2</sup> 音声以外のARPUには、データ通信ARPUや付加価値ARPUを含む。

※<sup>3</sup> 2014年度はソフトバンクが音声ARPUを分類していないため、ARPUのみ算出。

- 日本の携帯電話に係る総合ARPUは、米国、韓国を下回り中位の水準である。

総合ARPUの内外比較(2014年度第4四半期)



※1 為替レートは、購買力平価(2014)を使用。

※2 (日・米・仏・独)はポストペイド式、(韓)はポストペイド式とプリペイド式の混合。

※3 DTは通年のARPUを使用。

## 5. 大手携帯電話事業者の料金プランの現状

# 大手携帯電話事業者のフィーチャーフォンの料金プラン

- 2014年夏、大手携帯電話事業者は、フィーチャーフォンについて、従量制の音声通話プランに加え、月額2,200円（税抜）で国内通話かけ放題を内容とする料金プランを発表した（現在も提供されている）。

## フィーチャーフォンの主な料金プラン（※1）

（税抜）

| 会社名         |        | NTTドコモ                                |                       | KDDI (au)                   |                      | ソフトバンクモバイル                 |                        |
|-------------|--------|---------------------------------------|-----------------------|-----------------------------|----------------------|----------------------------|------------------------|
| 音声通話プラン(※2) | 【従量制】  |                                       |                       |                             |                      |                            |                        |
|             | 基本料    | タイプシンプルバリュー<br>743円                   | タイプSSバリュー<br>934円     | プランEシンプル<br>743円            | プランSSシンプル<br>934円    | ホワイトプラン<br>934円            | オレンジプランSSプラン<br>1,700円 |
|             | 無料通話   | なし                                    | 1,000円(25分)           | なし                          | 1,000円(25分)          | なし                         | 1,000円(25分)            |
|             | 通話料    | 20円/30秒                               | 20円/30秒               | 20円/30秒                     | 20円/30秒              | 20円/30秒                    | 20円/30秒                |
|             | 【定額制】  |                                       |                       |                             |                      |                            |                        |
|             | 基本料    | カケホーダイプラン(ケータイ)<br>2,200円             |                       | 電話カケ放題プラン(ケータイ)<br>2,200円   |                      | 通話し放題プラン(3Gケータイ)<br>2,200円 |                        |
| 通話料         | 国内通話無料 |                                       |                       |                             |                      |                            |                        |
| データ通信プラン    | ネット接続料 | 300円                                  |                       | 300円                        |                      | 300円                       |                        |
|             | データ通信料 | パケ・ホーダイダブル<br>372円～4,200円(5,700円(※3)) | パケ・ホーダイフラット<br>5,200円 | ダブル定額スーパーライト<br>372円～4,200円 | ISフラット(※3)<br>5,200円 | パケットし放題<br>372円～4,200円     | パケットし放題フラット<br>4,200円  |

※1 各社のプランのうち、主なもの（3Gスマホ等を含む）。最大通話時間は、全て音声通話で使用した場合のもの。

なお、3社とも家族間の国内通話は24時間無料（ソフトバンクのお仆プランは1～21時の間無料）。

※2 2年契約適用時の基本料。

※3 3Gスマホの料金。

- 2014年夏より大手携帯電話事業者のスマートフォンの料金プランは、基本料2,700円(国内通話かけ放題込み)、データ通信料金は月2GBからの設定。
- 本年9月、基本料1,700円プラン(赤枠)が新たに発表されたが、データ通信量が2GB等の利用者には適用されない。

| 会社名<br>(ブランド名) |      | NTTドコモ                                                                                                                              |                              | KDDI (au)                                                                                                                                             |                            | ソフトバンク                                                                                                                     |                             |
|----------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
|                |      |                                                                                                                                     |                              |                                                                                                                                                       |                            | (ソフトバンク)                                                                                                                   | (ワイモバイル)                    |
| 基本料            |      | カケホーダイ<br>プラン<br>(2年契約)                                                                                                             | カケホーダイ<br>ライトプラン※1<br>(2年契約) | 電話カケ放題プラン<br>(2年契約)                                                                                                                                   | 電話カケ放題<br>プランS※1<br>(2年契約) | 通話し放題プラン<br>(2年契約)                                                                                                         | 通話し放題<br>ライトプラン※1<br>(2年契約) |
|                |      | 2,700円                                                                                                                              | 1,700円                       | 2,700円                                                                                                                                                | 1,700円                     | 2,700円                                                                                                                     | 2,700円                      |
| ネット<br>接続料     |      | spモード<br>300円                                                                                                                       |                              | LTE NET<br>300円                                                                                                                                       |                            | S! ベーシックパック<br>300円                                                                                                        |                             |
| データ<br>通信料     | 2GB  | 3,500円                                                                                                                              | —                            | 3,500円                                                                                                                                                | —                          | 3,500円                                                                                                                     | —                           |
|                | 3GB  | —                                                                                                                                   |                              | 4,200円                                                                                                                                                |                            | —                                                                                                                          |                             |
|                | 5GB  | 5,000円                                                                                                                              |                              | 5,000円                                                                                                                                                |                            | 5,000円                                                                                                                     |                             |
|                | 8GB  | 6,700円                                                                                                                              |                              | 6,700円                                                                                                                                                |                            | —                                                                                                                          |                             |
|                | 10GB | 9,500円 ※2                                                                                                                           | —                            | 8,000円                                                                                                                                                |                            | 9,500円 ※2                                                                                                                  |                             |
|                | 13GB | —                                                                                                                                   |                              | 9,800円                                                                                                                                                |                            | —                                                                                                                          |                             |
|                | 15GB | 12,500円 ※2                                                                                                                          |                              | —                                                                                                                                                     |                            | 12,500円 ※2                                                                                                                 |                             |
|                | 20GB | 16,000円 ※2                                                                                                                          |                              | —                                                                                                                                                     |                            | 16,000円 ※2                                                                                                                 |                             |
|                | 30GB | 22,500円 ※2                                                                                                                          |                              | —                                                                                                                                                     |                            | 22,500円 ※2                                                                                                                 |                             |
| 合計             |      | 6,500円～<br>25,500円                                                                                                                  | 7,000円～<br>24,500円           | 6,500円～<br>12,800円                                                                                                                                    | 6,200円～<br>11,800円         | 6,500円～<br>25,500円                                                                                                         | 7,000円～<br>24,500円          |
| 備考             |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>2014年6月提供開始。(ライトプランは2015年9月)</li> <li>国内通話無料。</li> <li>2014年10月から未使用の容量を翌月に繰り越し可能</li> </ul> |                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>国内通話無料。</li> <li>3GB、13GBのプランも提供。</li> <li>データ通信量を家族に融通可能。</li> <li>2014年8月13日提供開始。(ライトプランは2015年9月)</li> </ul> |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>国内通話無料。</li> <li>未使用の容量を翌月に繰り越し可能。</li> <li>2014年7月提供開始。(ライトプランは2015年9月)</li> </ul> |                             |

※1 5分以内の国内通話が無料(回数制限なし)。5分を超えた場合は20円/30秒。2GBのプランとの組み合わせ不可(NTTドコモは10GBのプランとの組み合わせも不可。)

※2 10GB以上は家族間でデータ容量をシェアすることが可能

(税抜)

出典:各社ホームページ

- 大手携帯電話事業者の従来のスマートフォンの料金プランは、音声通話が従量制で、データ通信が7G上限のものが中心であった。
- 当該プランについて、NTTドコモは2014年8月末に新規受付停止。

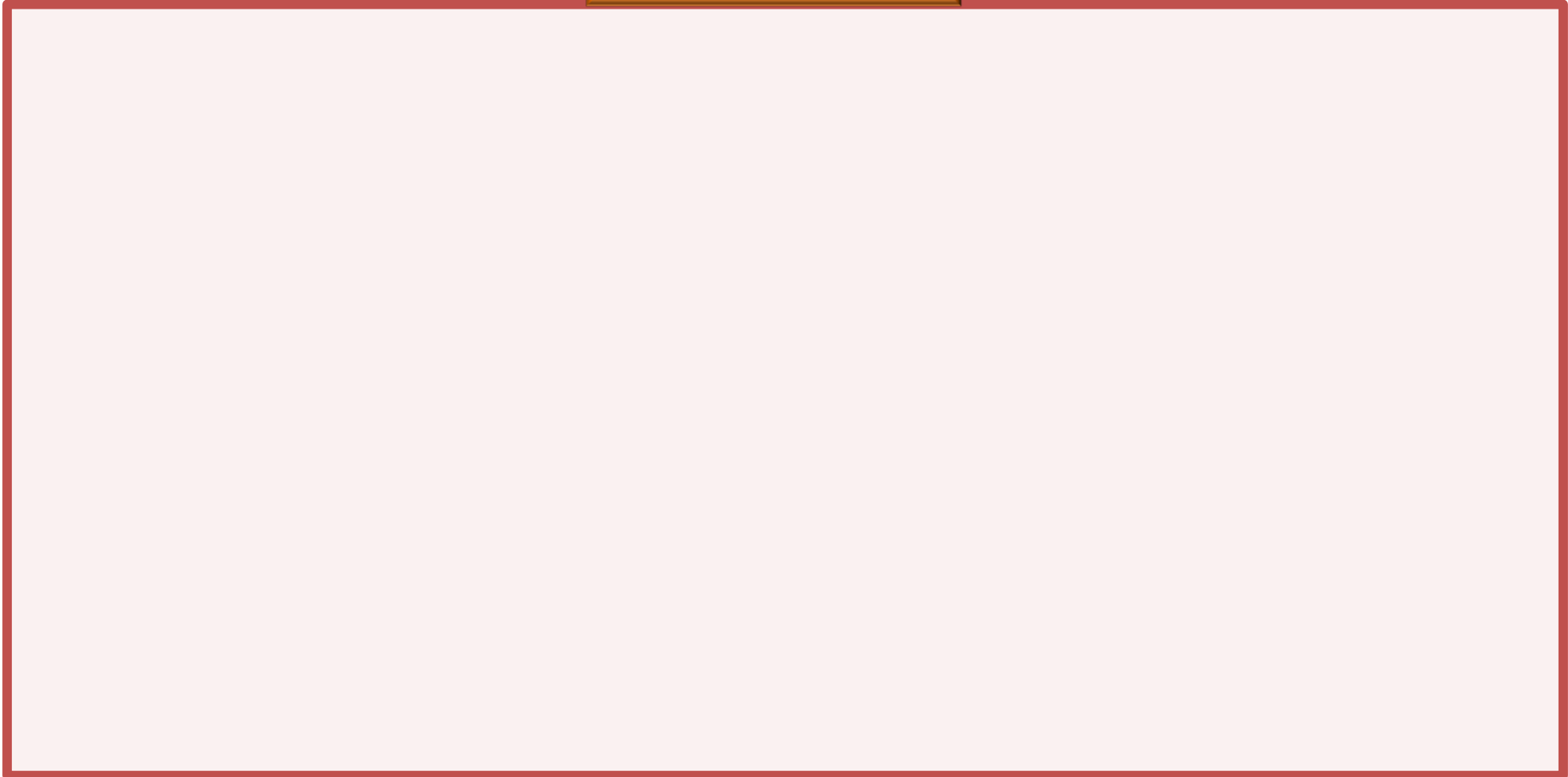
(税抜)

| 会社名               | NTTドコモ                                     |        |                      | KDDI (au)                                                      |                  | ソフトバンクモバイル                                                                          |                  |
|-------------------|--------------------------------------------|--------|----------------------|----------------------------------------------------------------|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 基本料               | タイプXi にねん(2年契約)                            |        |                      | LTEプラン(誰でも割、2年契約)                                              |                  | ホワイトプラン(2年契約)                                                                       |                  |
|                   | 743円                                       |        |                      | 934円                                                           |                  | 934円                                                                                |                  |
| 通話料               | 20円/30秒<br>Xiカケ・ホーダイ:667円/月<br>(自網内24時間無料) |        |                      | 1～21時の自網内通話無料<br>上記以外は:20円/30秒<br>au通話定額:477円/月<br>(自網内24時間無料) |                  | 1～21時の自網内通話無料<br>上記以外は:20円/30秒<br>定額オプション:477円/月<br>(自網内24時間無料)<br>※2013年1月サービス提供開始 |                  |
| ネット<br>接続料        | spモード                                      |        |                      | LTE NET                                                        |                  | S! ベーシックパック                                                                         |                  |
|                   | 300円                                       |        |                      | 300円                                                           |                  | 300円                                                                                |                  |
| データ通信料<br>(上限7GB) | Xiパケ・<br>ホーダイ<br>フラット                      | iPhone | Xiパケ・<br>ホーダイ<br>ライト | LTE対応<br>スマホ                                                   | iPhone           | LTE対応<br>スマホ                                                                        | iPhone           |
|                   | 5,700円                                     | 5,200円 | 4,700円               | 5,700円                                                         | 5,200円<br>(最大2年) | 5,700円                                                                              | 5,200円<br>(最大2年) |
| 合計<br>(通話料除く)     | 6,743円                                     | 6,243円 | 5,743円               | 6,934円                                                         | 6,434円           | 6,934円                                                                              | 6,434円           |

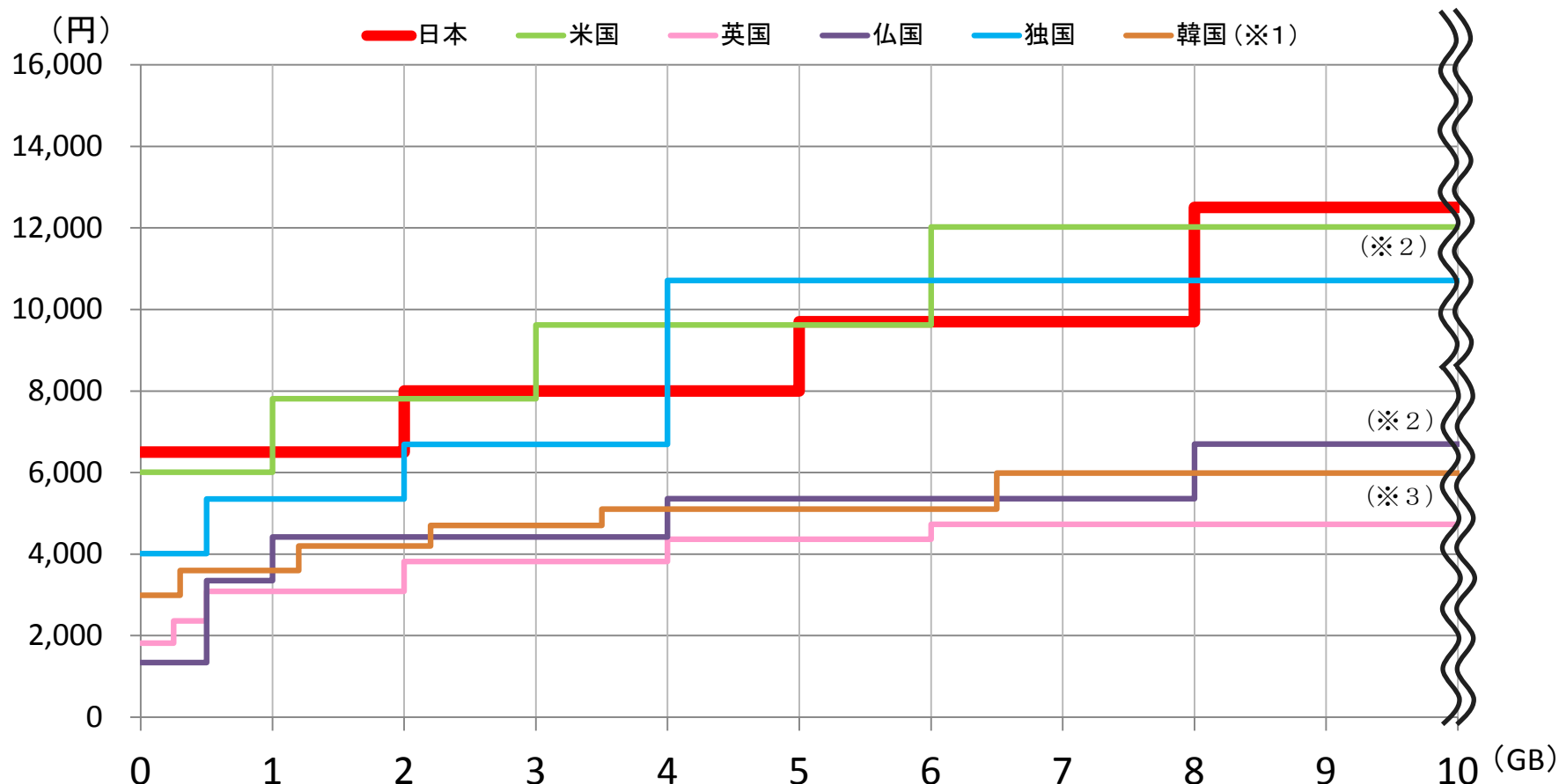
- 大手携帯電話事業者3社の3. 9Gの契約に係る料金プラン別契約数の分布は、7GB上限の層にピークがある。

料金プラン別契約数

赤枠内は構成員限り



- 音声及びデータの組み合わせプランで比較した場合、日本はデータ通信量が2GBからの設定となっており、諸外国のSIMのみプランに比べ、少ないデータ容量においては高い料金額となっている。



※1 日本、独国及び韓国のプランは24か月継続プラン。英国及び仏国のプランは12か月継続プラン。米国のプランは期間拘束なしのプラン。

日本、米国、独国及び韓国のプランは国内通話無制限。英国及び仏国のプランは一部を除き国内通話無制限。

為替レートは以下のとおり。小数点以下は四捨五入。

1米\$ = 120.2円、1£ = 181.9円、1€ = 134.0円、1₩(韓) = 0.1円

※2 米国及び仏国の料金プランは、12GBまで利用可能。

※3 韓国の料金プランは、11GBまで利用可能。

# (参考) 諸外国におけるスマートフォン(LTE)の通話・データプラン(月額) 43

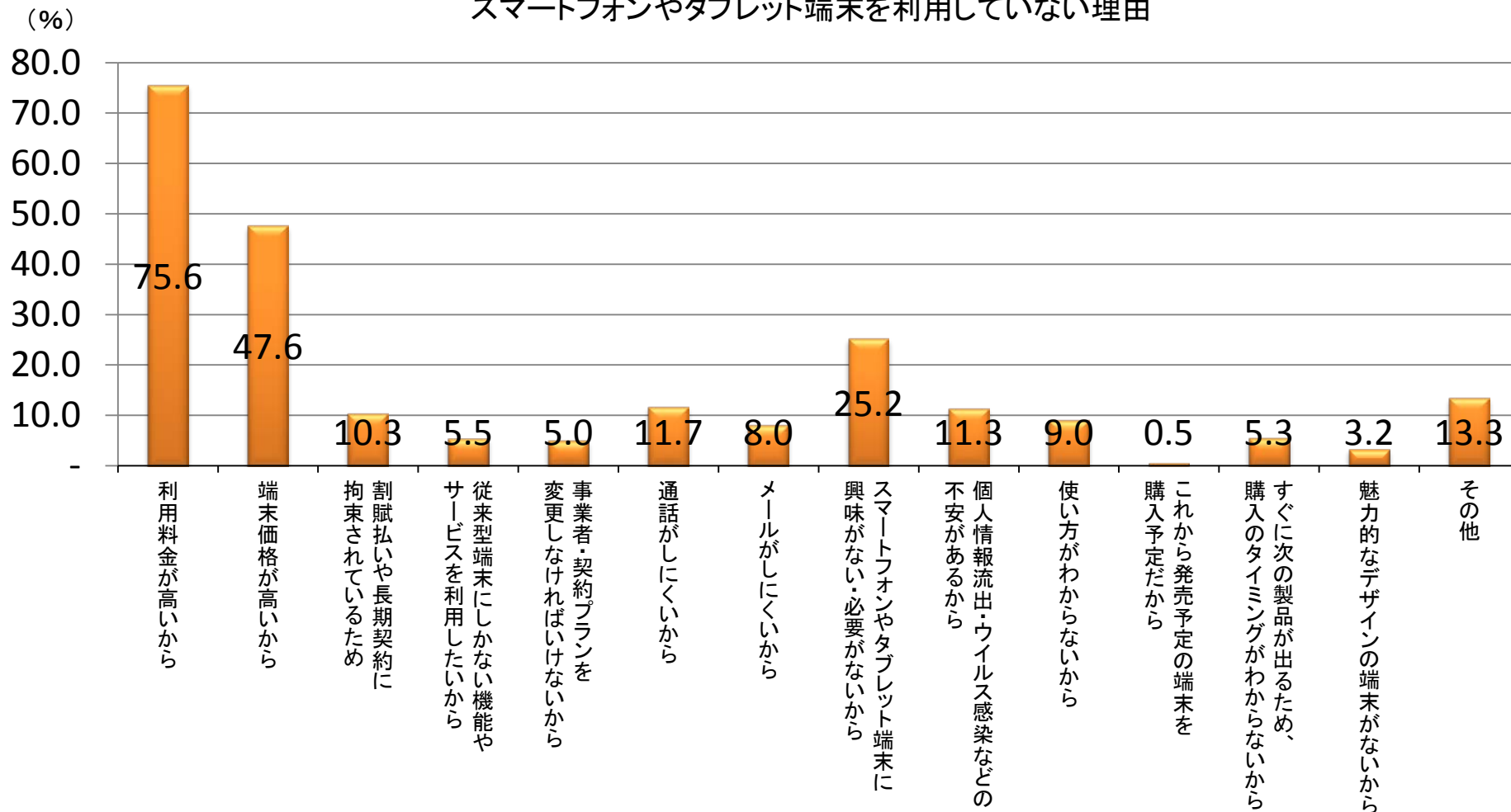
(単位: 円、税抜)

| 事業者               | 基本<br>使用料                      | 250<br>MB                       | 500<br>MB                       | 1GB                           | 2GB                             | 3GB                           | 4GB                             | 5GB              | 6GB                             | 7GB | 8GB               | 9GB | 10GB                            | ...                                   | 備考                                                                           |
|-------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|------------------|---------------------------------|-----|-------------------|-----|---------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 日本<br>(NTTドコモ)    | 2,700                          | —                               | —                               | —                             | 3,500<br>(6,500)                | —                             | —                               | 5,000<br>(8,000) | —                               | —   | 6,700<br>(9,700)  | —   | 9,500<br>(12,500)               | 22,500<br>〈30GB〉<br>(25,500)          | ・24か月継続プラン<br>・国内通話無制限。<br>・括弧内は基本使用料とネット接続料(300円)を合算した料金。                   |
| 米国<br>(VERIZON)   | 2,404<br>(\$ 20) <sup>※1</sup> | —                               | —                               | 3,606<br>(\$30)<br>(6,010)    | —                               | 5,409<br>(\$45)<br>(7,813)    | —                               | —                | 7,212<br>(\$60)<br>(9,616)      | —   | —                 | —   | —                               | 9,616<br>(\$80)<br>〈12GB〉<br>(12,020) | ・期間拘束なし。<br>・国内通話無制限。<br>・括弧内は基本料を加算。<br>※1端末を割賦契約で購入または所有端末を利用する場合。         |
| 英国<br>(EE)        | —                              | 1,817 <sup>※2</sup><br>(£ 9.99) | 2,362 <sup>※3</sup><br>(£12.99) | —                             | 3,090 <sup>※4</sup><br>(£16.99) | —                             | 3,818 <sup>※5</sup><br>(£20.99) | —                | 4,364 <sup>※5</sup><br>(£23.99) | —   | —                 | —   | 4,727 <sup>※5</sup><br>(£25.99) | —                                     | ・12か月継続プラン。<br>※2通話250分まで無料。<br>※3通話500分まで無料。<br>※4通話2,000分まで無料。<br>※5通話無制限。 |
| 仏国<br>(Orange)    | —                              | —                               | 1,339 <sup>※6</sup><br>(€9.99)  | 3,349<br>(€24.99)             | —                               | —                             | 4,421<br>(€32.99)               | —                | —                               | —   | 5,359<br>(€39.99) | —   | —                               | 6,698<br>(€49.99)<br>〈12GB〉           | ・12か月継続プラン。<br>・国内通話無制限。<br>※6通話120分まで無料。                                    |
| 独国<br>(T-Mobile)  | —                              | —                               | 4,013<br>(€29.95)               | —                             | 5,353<br>(€39.95)               | —                             | 6,693<br>(€49.95)               | —                | —                               | —   | —                 | —   | 10,713<br>(€79.95)              | —                                     | ・24か月継続プラン。<br>・国内通話無制限。                                                     |
| 韓国<br>(SKTelecom) | —                              | 2,990<br>(₩29,900)<br>(300MB)   | —                               | 3,600<br>(₩36,000)<br>(1.2GB) | 4,200<br>(₩42,000)<br>(2.2GB)   | 4,700<br>(₩47,000)<br>(3.5GB) | —                               | —                | 5,100<br>(₩51,000)<br>(6.5GB)   | —   | —                 | —   | —                               | 5,990<br>(₩59,900)<br>〈11GB〉          | ・24か月継続プラン。<br>・国内通話無制限。                                                     |

- 2015年10月1日現在
- 日本の新料金プランについては、2014年6月1日からサービス開始。10GB以上のプランは、家族(3親等内)でデータ通信量をシェアするプランとなり、20回線まで契約可。
- 為替レートは以下のとおり。小数点以下四捨五入。  
1米\$=120.2円、1£=181.9円、1€=134.0円、1₩(韓)=0.1円

- フィーチャーフォンからスマートフォンやタブレット端末へ移行しない理由として、「利用料金が高い」ことを挙げる者が7割を超える。

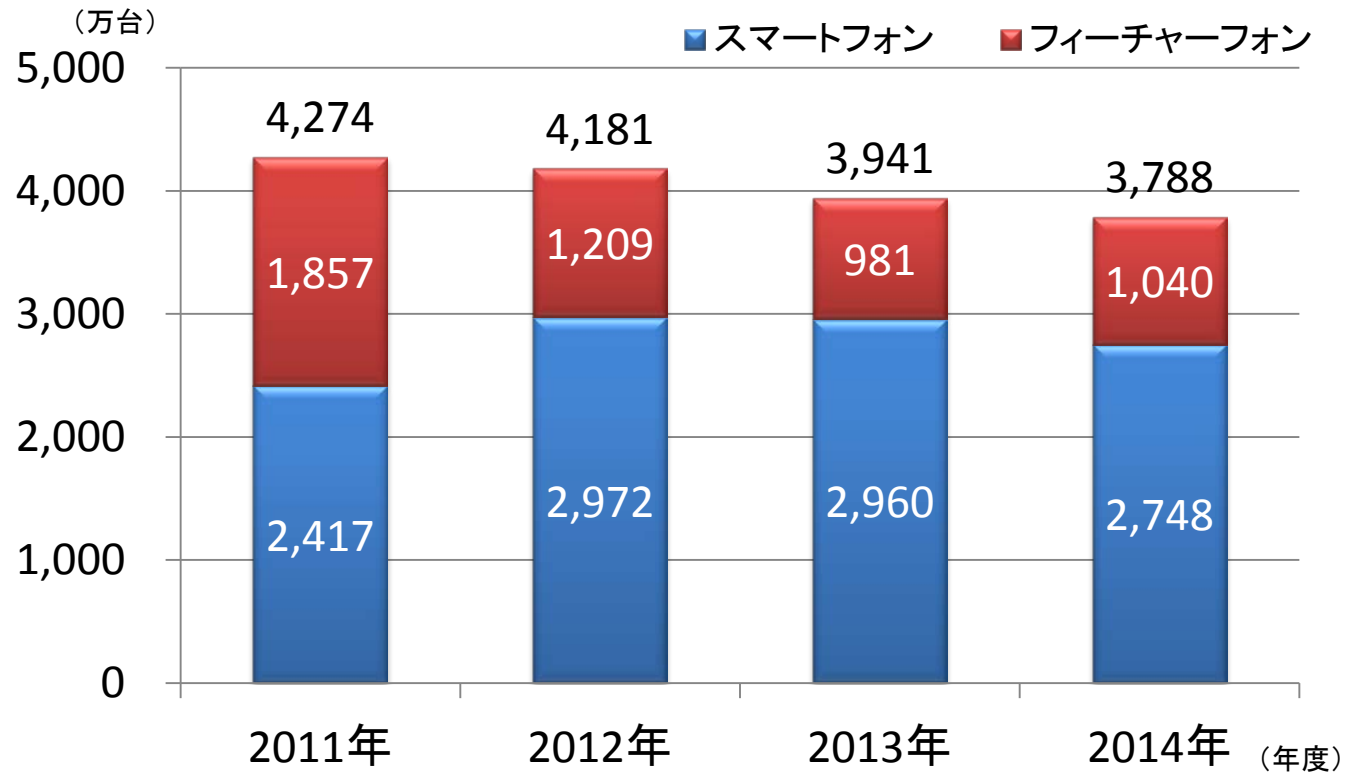
現在フィーチャーフォンを利用して、  
スマートフォンやタブレット端末を利用していない理由



## 6. 携帯電話端末の販売・流通の現状

- 国内携帯電話端末出荷台数については、2011年度以降、やや減少している。

## 国内携帯電話端末出荷台数

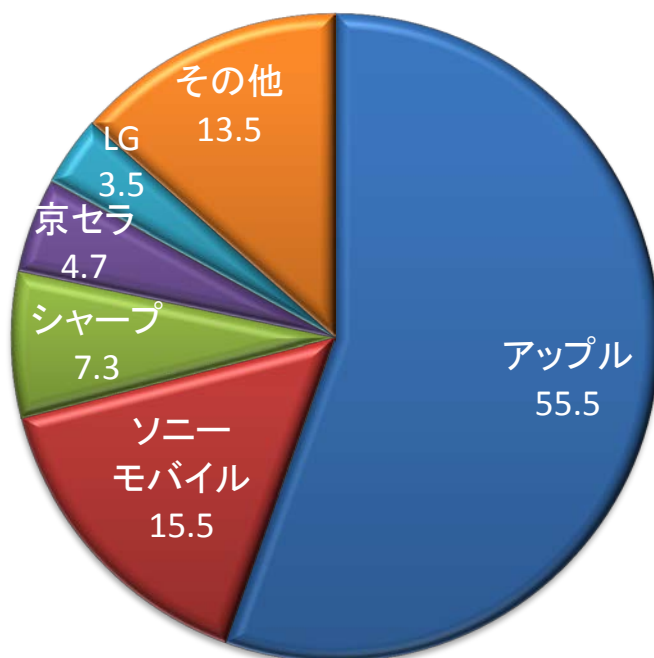


- ・大手携帯電話事業者への端末出荷台数。
- ・フィーチャーフォンとスマートフォンの合計(タブレット等を含まない)。

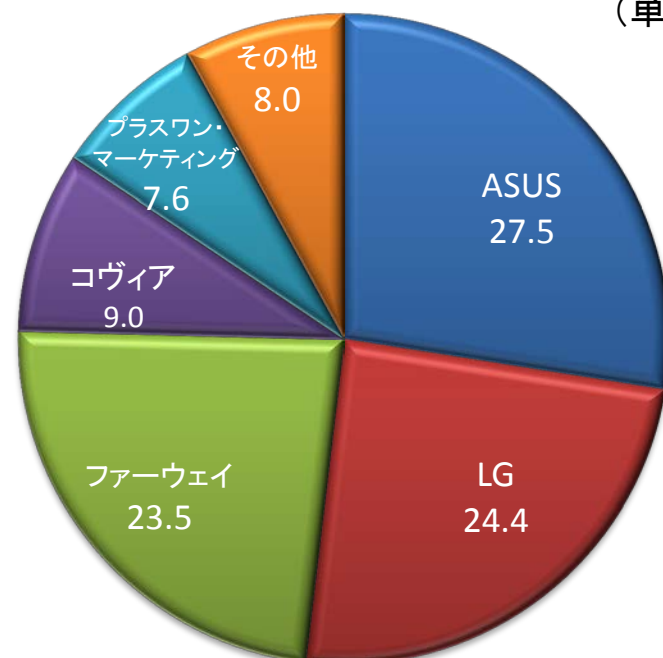
# スマートフォンの販売シェア

- スマートフォン全体のシェアでは、アップルが55.5%と、全体の半数以上を占めている。
- スマートフォン販売台数に占めるSIMロックフリー端末の割合が10%台となっている(2015年4月～8月)。
- SIMロックフリー端末のシェアでは、ASUSやLG等が上位を占めている。

スマートフォン全体



SIMロックフリー端末



(単位: %)

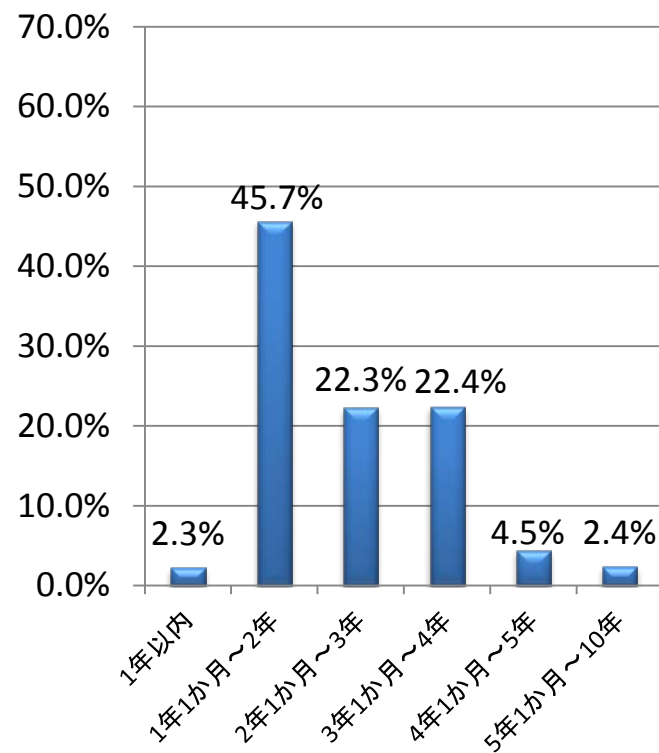
※1 2014年9月～2015年8月の販売台数のシェア。

※2 全国の家電量販店等22社のPOSデータを日次で集計した数値からシェアを算出。

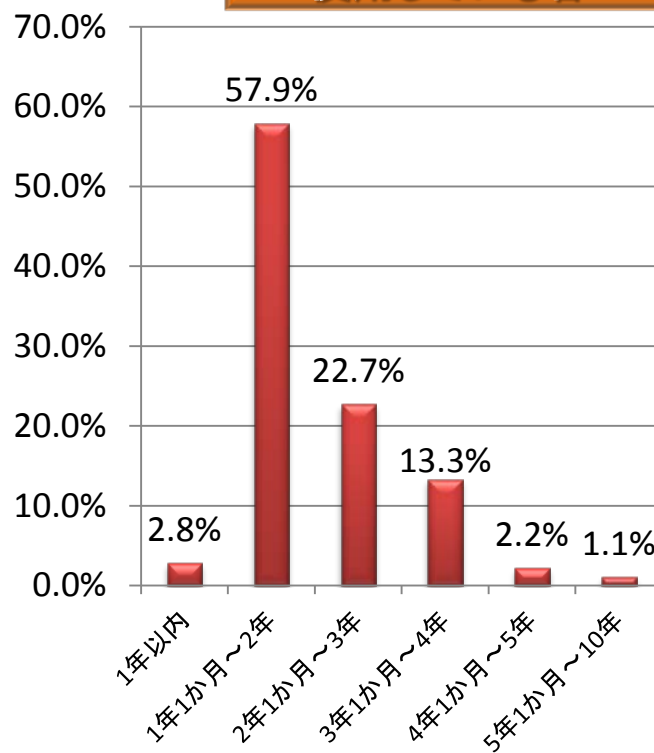
# 携帯電話端末の使用期間

- 全体で半分以上の人が2年以上同じ携帯電話端末を利用している。
- 現在スマートフォンを利用している者については、前の携帯電話端末の使用期間が2年以内の者が約6割を占める。
- 消費動向調査(内閣府)の結果によると、携帯電話端末の平均使用年数は3.7年となっている。

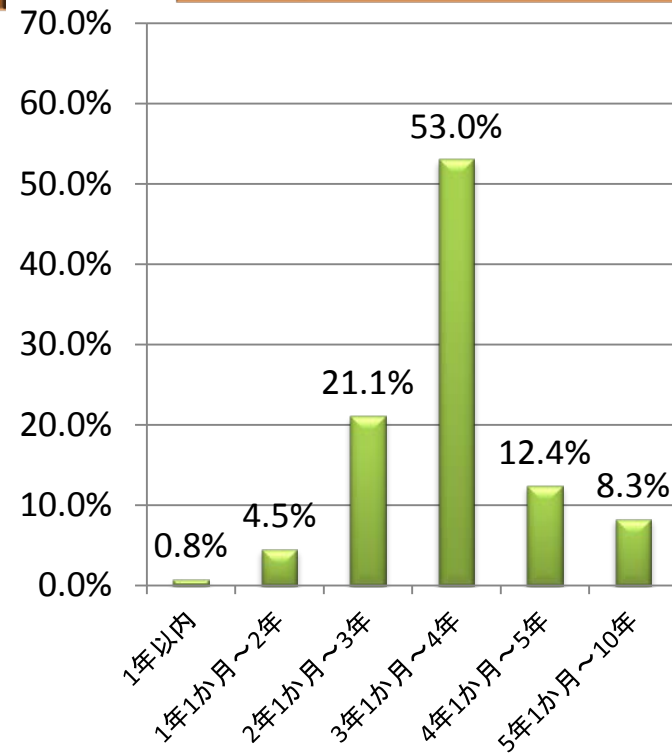
## 全体



## 現在スマートフォンを使用している者



## 現在フィーチャーフォンを使用している者

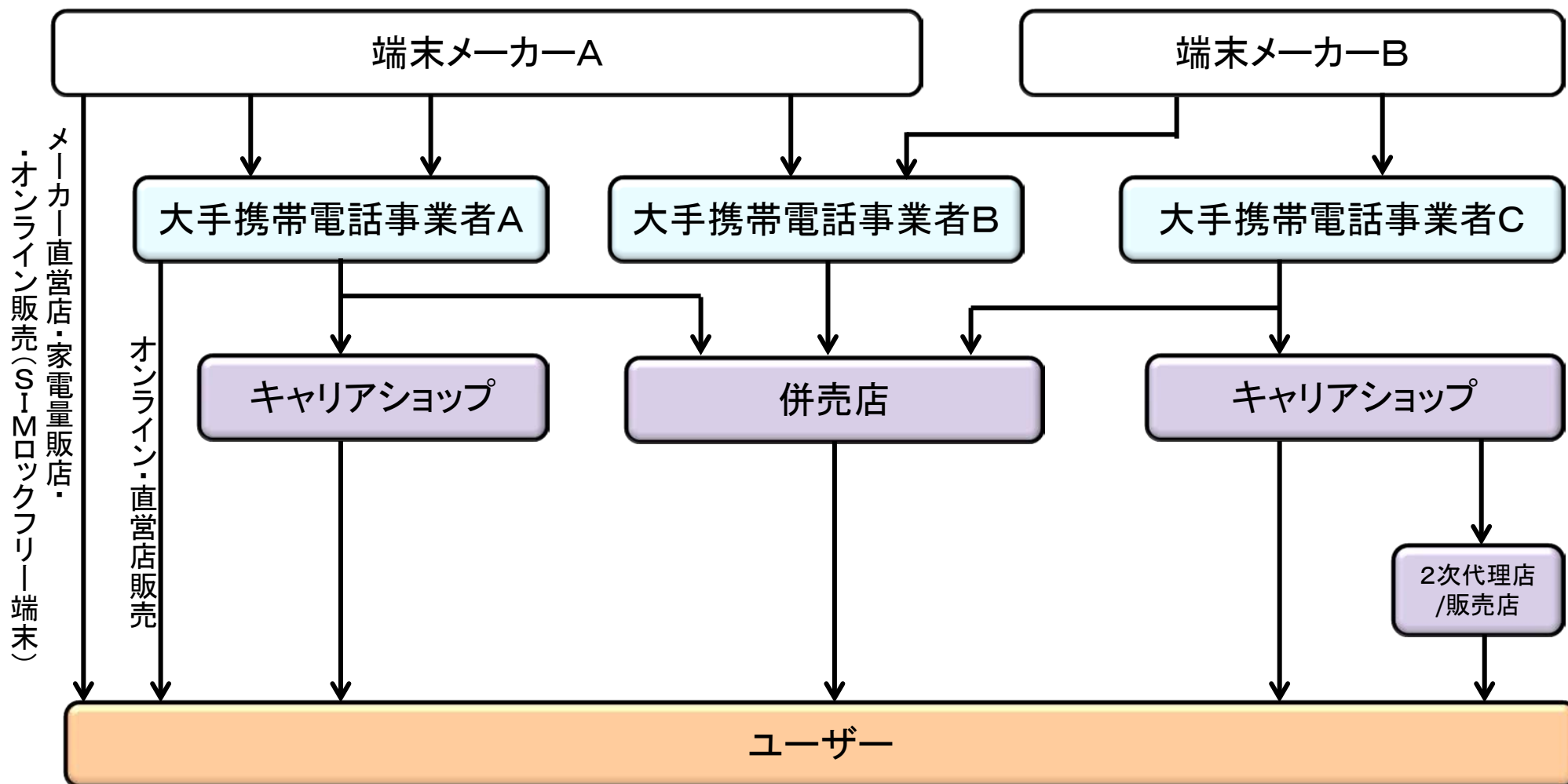


※1 現在使用している携帯電話端末（スマートフォン及びフィーチャーフォン）の前に使用していた携帯電話端末の使用期間をアンケート調査したもの（n=1, 116）。

※2 消費動向調査（内閣府）：平成26年度において、携帯電話端末の買換えをした世帯について、以前に使用していた携帯電話端末の平均使用年数（n=1, 230）。

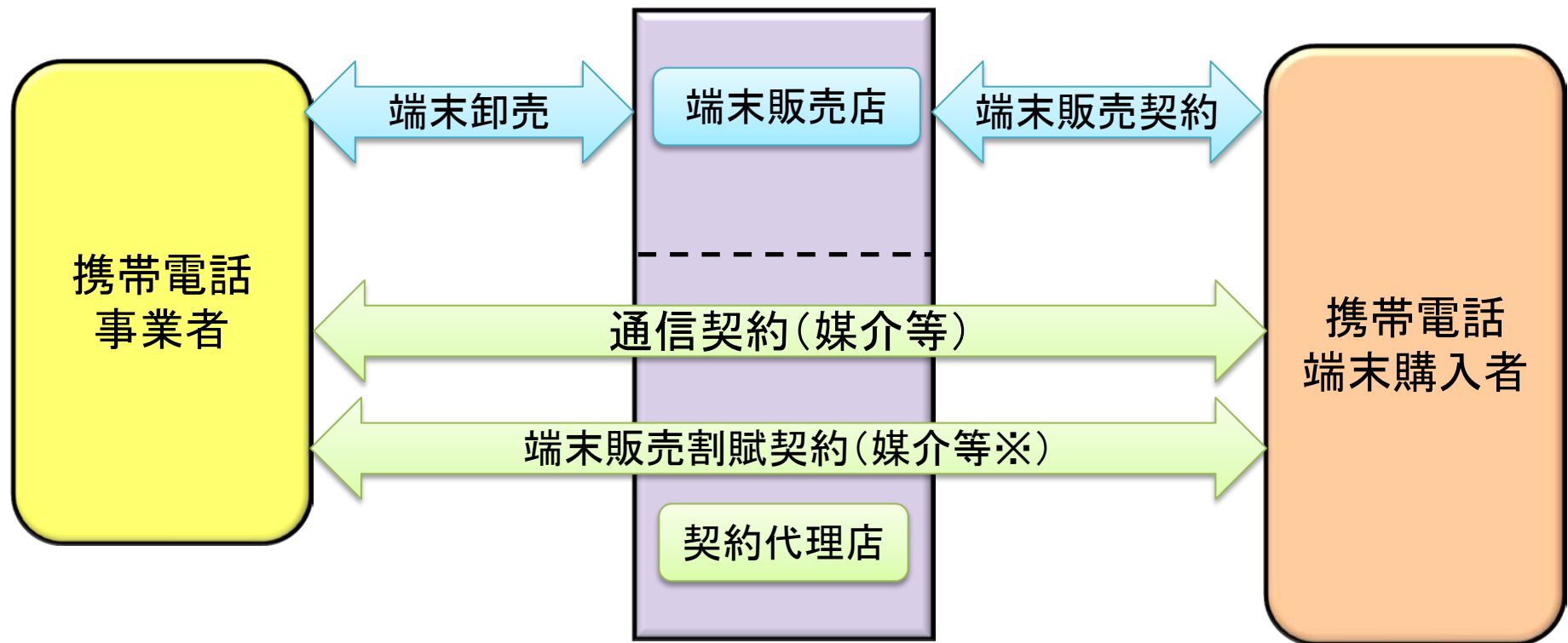
# 携帯電話端末の流通

- 携帯電話端末のほとんどは、端末メーカーから大手携帯電話事業者に卸され、16,000店以上※の販売店等を通じて販売されている。
- SIMロックフリー端末は、端末メーカーの店頭販売やオンライン販売等が行われている。



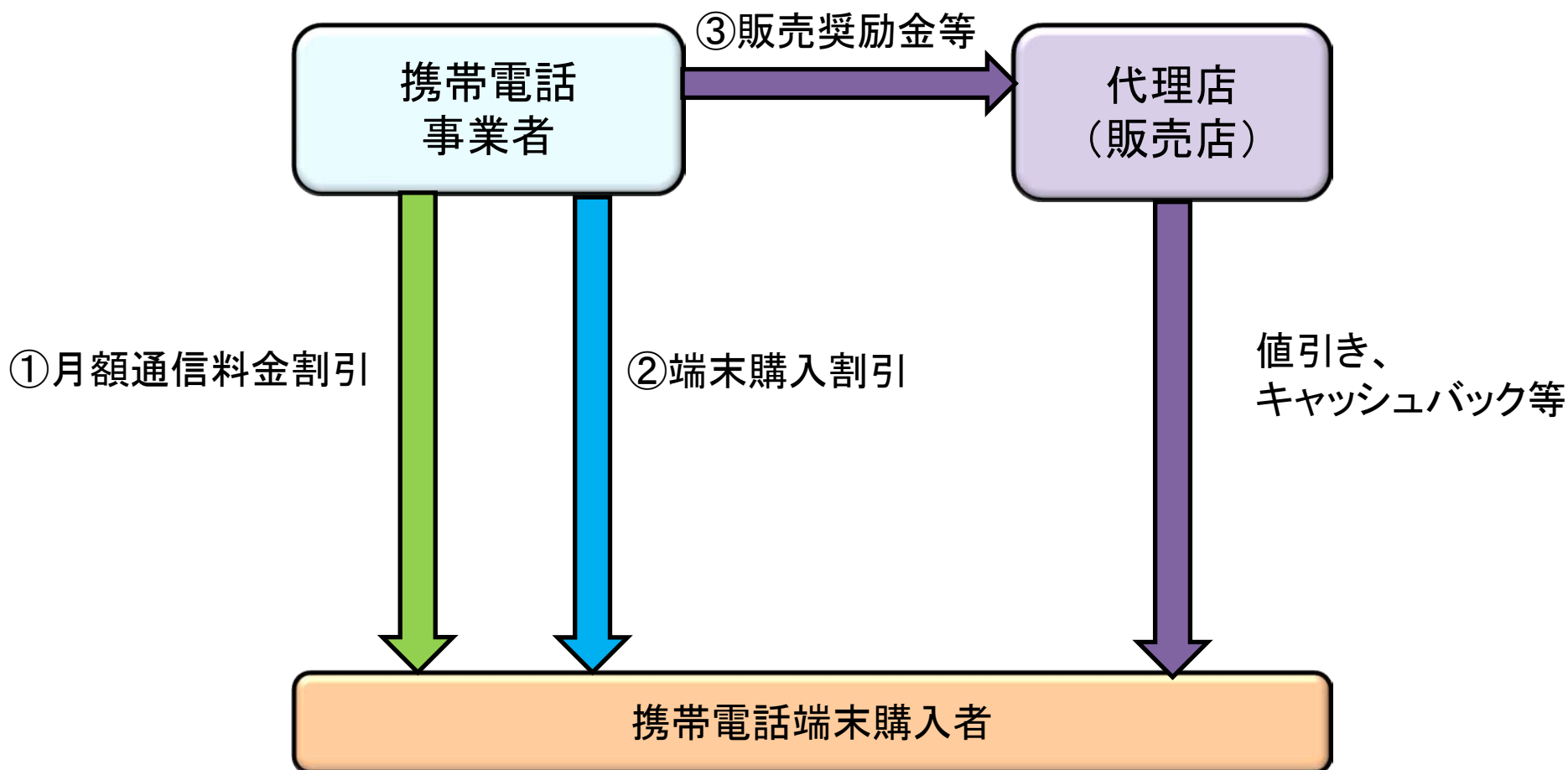
※出典:「消費者保護ルールの見直し・充実に関するWG(第10回)」携帯電話販売代理店各社資料

- いわゆる「キャリアショップ」等は、契約代理店として携帯電話事業者と携帯電話端末購入者との通信契約の締結の媒介を行うとともに、端末販売店として端末を販売する。
- 携帯電話端末購入者からは、この2つの機能が特に意識されず、一体として見られていると考えられる。



※ 割賦契約の場合は、キャリアと携帯電話購入者との契約を媒介。

- 携帯電話端末の購入者への優遇については、①携帯電話事業者による月額通信料金割引、②携帯電話事業者による端末購入割引、③販売奨励金等を原資とした代理店(販売店)によるキャッシュバック等、などがある。



- 大手携帯電話事業者は指定のプランの契約を条件に、端末を購入した利用者に対して、一定期間、月額の通信料金から割引を行っている。
- 当該割引は、機種、契約形態（新規契約、機種変更、MNP）、購入時期等により割引額が異なり、具体的な金額が一覧性のある形で利用者に示されていない。

|      | NTTドコモ                   | KDDI（au）              | ソフトバンク                 |
|------|--------------------------|-----------------------|------------------------|
| 割引名  | 月々サポート<br>(2011年3月提供開始)  | 毎月割<br>(2010年11月提供開始) | 月月割※<br>(2006年10月提供開始) |
| 割引期間 | 対象機種の購入で月額の通信料金を最大24ヶ月割引 |                       |                        |
| 適用額  | 購入機種、契約形態、購入時期等により異なる    |                       |                        |

※ 当時は、「新スーパーボーナス特別割引」として提供。2008年11月より「月月割」に名称変更。

出典:各社ホームページより作成

## 新規契約※<sup>1</sup>で購入した場合

| 機種名<br>(メーカー名)   | iPhone6S (64GB)<br>(Apple Inc.) | Xperia Z4 SO-03G (32GB)<br>(ソニーモバイルコミュニケーションズ(株)) | Galaxy S6 edge SC-04G (64GB)<br>(Samsung Electronics Co., Ltd.) |
|------------------|---------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 端末価格             | 99,792円                         | 93,312円                                           | 93,312円                                                         |
| 月々サポート総額<br>(月額) | ▲60,912円<br>(▲2,538円×24ヶ月)      | ▲37,584円<br>(▲1,566円×24ヶ月)                        | ▲13,608円<br>(▲567円×24ヶ月)                                        |
| 実質負担額            | 38,880円                         | 55,728円                                           | 79,704円                                                         |

※1 機種変更の場合も機種毎の端末価格、月々サポート総額及び実質負担額は同額

## MNP※<sup>2</sup>転入でNTTドコモ端末を購入した場合

| 機種名<br>(メーカー名)                              | iPhone6S (64GB)<br>(Apple Inc.) | Xperia Z4 SO-03G (32GB)<br>(ソニーモバイルコミュニケーションズ(株)) | Galaxy S6 edge SC-04G (64GB)<br>(Samsung Electronics Co., Ltd.) |
|---------------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 端末価格                                        | 99,792円                         | 93,312円                                           | 93,312円                                                         |
| 月々サポート等総額※ <sup>3</sup><br>(うち月々サポート<br>月額) | ▲87,264円<br>(▲3,186円×24ヶ月)      | ▲93,744円<br>(▲810円×24ヶ月)                          | ▲104,112円<br>(▲3,888円×24ヶ月)                                     |
| 実質負担額                                       | 12,528円                         | ▲432円                                             | ▲10,800円                                                        |

※2 MNP (Mobile Number Portability) : 電話番号を変更せずに携帯電話事業者を乗り換える制度

※3 月々サポートの他にMNP転入に係る割引がある。

## 新規契約※<sup>1</sup>で購入した場合

| 機種名<br>(メーカー名) | iPhone6S (64GB)<br>(Apple Inc.)          | Xperia Z4 SOV31 (32GB)<br>(ソニーモバイルコミュニケーションズ(株)) | Galaxy S6 edge SCV31 (64GB)<br>(Samsung Electronics Co., Ltd.) |
|----------------|------------------------------------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 端末価格           | 97,080円                                  | 70,200円                                          | 81,000円                                                        |
| 毎月割総額<br>(月額)  | ▲68,160円※ <sup>2</sup><br>(▲2,840円×24ヶ月) | ▲30,024円<br>(▲1,251円×24ヶ月)                       | ▲30,024円<br>(▲1,251円×24ヶ月)                                     |
| 実質負担額          | 28,920円                                  | 40,176円                                          | 50,976円                                                        |

※<sup>1</sup> 「Xperia Z4」及び「Galaxy S6 edge」については、機種変更の場合も端末価格、毎月割総額及び実質負担額は同額

※<sup>2</sup> 機種変更の場合、毎月割が▲58,440円(▲2,435円×24ヶ月)となり、実質負担額は、38,640円となる。

## MNP※<sup>3</sup>転入で購入した場合

| 機種名<br>(メーカー名) | iPhone6S (64GB)<br>(Apple Inc.) | Xperia Z4 SOV31 (32GB)<br>(ソニーモバイルコミュニケーションズ(株)) | Galaxy S6 edge SCV31 (64GB)<br>(Samsung Electronics Co., Ltd.) |
|----------------|---------------------------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 端末価格           | 97,080円                         | 70,200円                                          | 81,000円                                                        |
| 毎月割総額<br>(月額)  | ▲68,160円<br>(▲2,840円×24ヶ月)      | ▲51,624円<br>(▲2,151円×24ヶ月)                       | ▲30,024円<br>(▲1,251円×24ヶ月)                                     |
| 実質負担額          | 28,920円                         | 18,576円                                          | 50,976円                                                        |

※<sup>3</sup> MNP (Mobile Number Portability) : 電話番号を変更せずに携帯電話事業者を乗り換える制度

## 新規契約※<sup>1</sup>で購入した場合

| 機種名<br>(メーカー名) | iPhone6S 64GB<br>(Apple Inc.) | Xperia Z4<br>(ソニーモバイルコミュニケーションズ(株)) | Galaxy S6 edge<br>(Samsung Electronics Co., Ltd.) |
|----------------|-------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 端末価格           | 106,560円                      | 81,120円                             | 97,920円                                           |
| 月月割総額<br>(月額)  | ▲68,040円<br>(▲2,835円×24ヶ月)    | ▲33,624円<br>(▲1,401円×24ヶ月)          | ▲49,704円<br>(▲2,071円×24ヶ月)                        |
| 実質負担額          | 38,520円                       | 47,496円                             | 48,216円                                           |

※1 機種変更の場合も機種毎の端末価格、月月割総額及び実質負担額は同額

## MNP※<sup>2</sup>転入で購入した場合

| 機種名<br>(メーカー名)                    | iPhone6S 64GB<br>(Apple Inc.) | Xperia Z4<br>(ソニーモバイルコミュニケーションズ(株)) | Galaxy S6 edge<br>(Samsung Electronics Co., Ltd.) |
|-----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 端末価格                              | 106,560円                      | 81,120円                             | 97,920円                                           |
| 月月割等総額※ <sup>3</sup><br>(うち月月割月額) | ▲78,408円<br>(▲2,835円×24ヶ月)    | ▲81,912円<br>(▲2,981円×24ヶ月)          | ▲93,312円<br>(▲3,456円×24ヶ月)                        |
| 実質負担額                             | 28,152円                       | ▲792円                               | 4,608円                                            |

※2 MNP (Mobile Number Portability) : 電話番号を変更せずに携帯電話事業者を乗り換える制度

※3 月月割の他にMNP転入に係る割引がある。

## ＜②端末購入割引＞大手携帯電話事業者の端末購入割引

- 大手携帯電話事業者は、一部の携帯電話端末の代金について、MNP対象者に対する割引を提供。
- 規定する期間内に通信契約を解除した場合等は、解除料が発生する。

|              | NTTドコモ                            | KDDI (au)                                                               | ソフトバンク                                         |
|--------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 割引名          | 端末購入サポート                          | MNP購入サポート                                                               | 一括購入割引                                         |
| 端末購入割引       | <b>端末代金の一部</b><br>※割賦払、一括払選択可     | <b>端末代金の一部</b><br>※購入時から充当できるポイントを付与<br>※他のMNPキャンペーン割引との併用により全額となるケース有り | <b>端末代金の全部<br/>又は一部</b><br>※割賦払の場合は月額通信料金割引    |
| 解除となる条件      | 13ヶ月以内の通信契約解約・機種変更・対象外プランへのプラン変更等 | 12ヶ月以内の通信契約解約・機種変更等                                                     | 23ヶ月以内の通信契約解約、指定プラン以外への変更等                     |
| 解除料          | 機種ごとに定められた一定額の解除料                 | 経過月数に応じて減額される解除料 (30,000円から1,350円ずつ減額)                                  | 機種ごとに定められた経過月数に応じて減額される解除料 (端末代金割引額の23分の1ずつ減額) |
| 月額通信料金割引との併用 | <b>有り</b><br>※端末代金の残額前後           | <b>有り</b><br>※端末代金の残額を上限 (残額があっても割引と併用できない場合がある)                        | <b>一部有り</b>                                    |

※1 2015年10月1日現在

※2 NTTドコモ及びソフトバンクは、各社ホームページより作成

※3 KDDIは、販売店のホームページ等より作成

## <②端末購入割引> 端末購入割引を受けて購入した場合の支払いイメージ

57

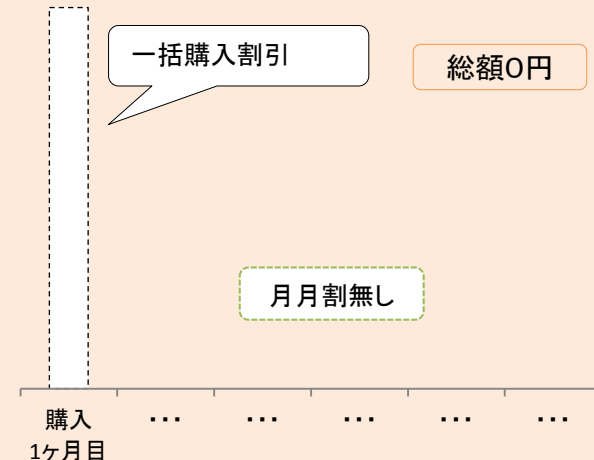
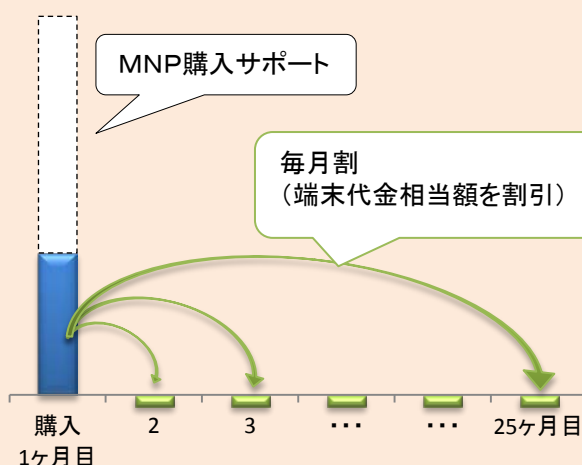
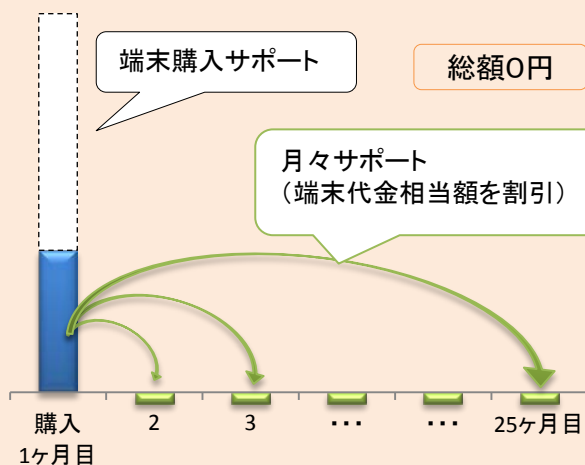
- 端末購入割引等を受けて対象端末を購入する場合の支払い方法について、ドコモとソフトバンクは一括払・分割払を選択できるが、支払総額は同一となっている。KDDIは一括払のみとなっている。

ドコモ

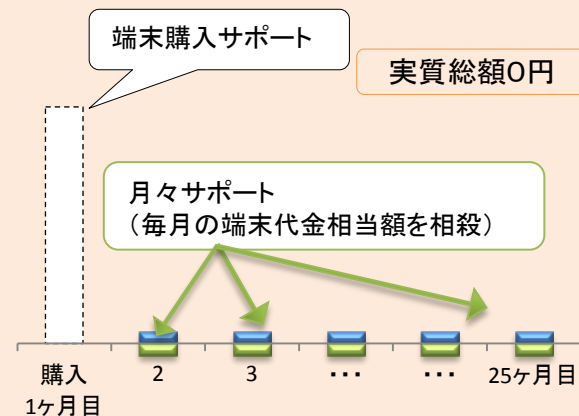
KDDI

ソフトバンク

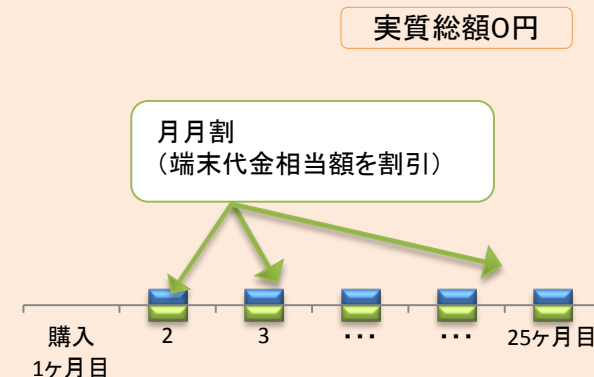
一括払の場合



分割払の場合



分割払は不可



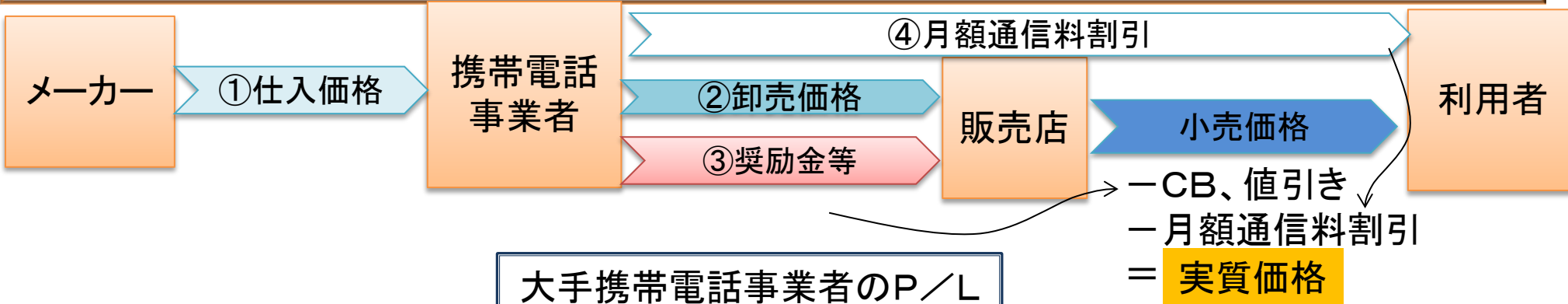
□ 端末購入割引 ■ 端末代金残額 ■ 月額通信料割引

赤枠内は構成員限り

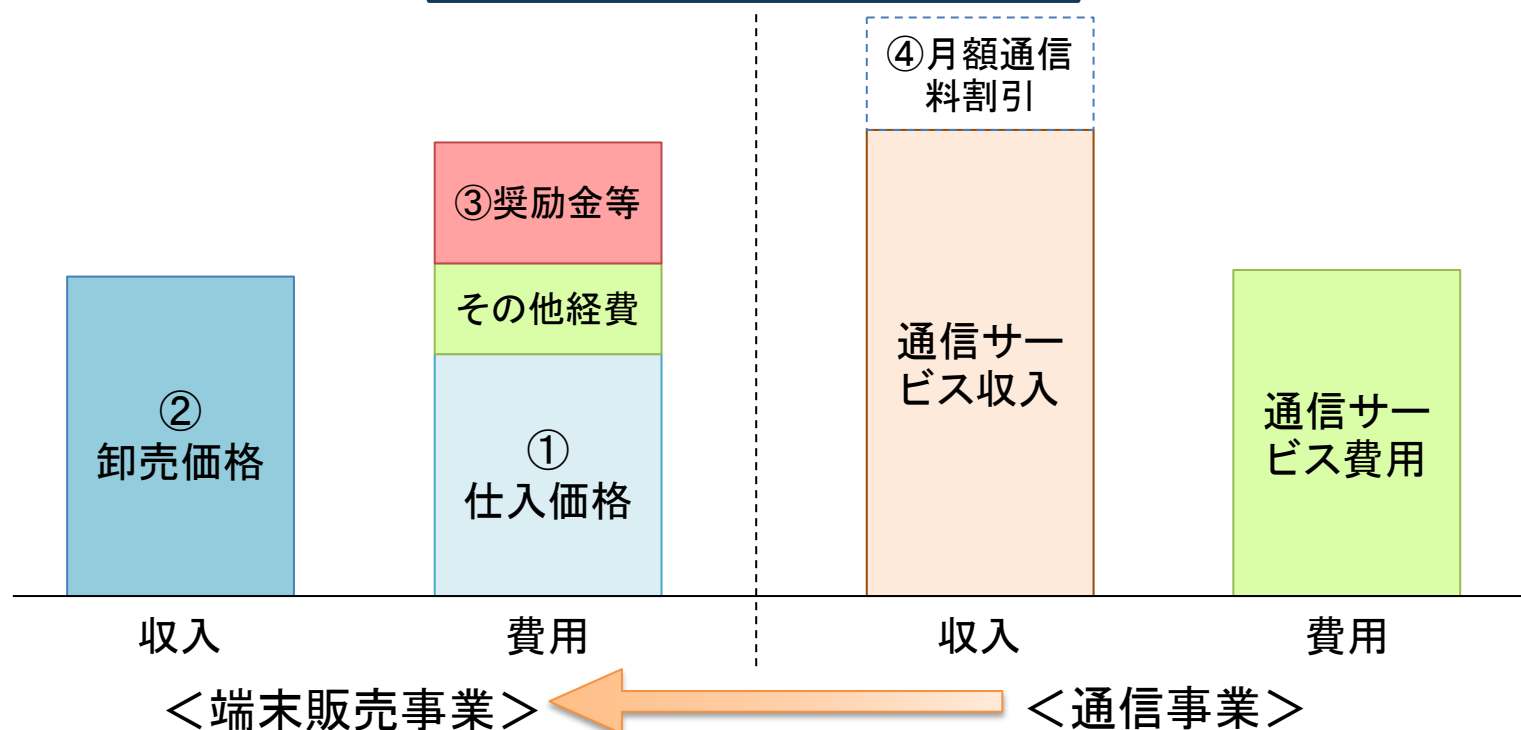
- 大手携帯電話事業者の端末販売収支は、赤字傾向になっていると見込まれる。

赤枠内は構成員限り

- 大手携帯電話事業者は、通信事業に加え、端末販売事業も営んでいるが、販売店による値引き・キャッシュバックの原資となる奨励金等は端末販売事業の費用となり、端末購入を条件とする月額通信料割引により通信サービス収入が減少する構造となっている。



## 大手携帯電話事業者のP/L



# MNPの場合と機種変更の場合の支払額比較(イメージ)

61

- MNPの場合の支払額は、機種変更に比べ、月額通信料金割引の額が大きいことに加え、端末購入割引や販売奨励金等を原資としたキャッシュバックがある場合、大幅に割安となる。

## 機種変更の場合

金額はイメージであり、購入する端末、店舗又は時期等により異なる扱いとなる場合がある。

|          | 1ヶ月目    | 2ヶ月目    | ... | 23ヶ月目   | 24ヶ月目   | 合計       |
|----------|---------|---------|-----|---------|---------|----------|
| 通信料金     | 6,500   | 6,500   |     | 6,500   | 6,500   | 156,000  |
| 端末代      | 3,546   | 3,546   |     | 3,546   | 3,546   | 85,104   |
| 月額料金通信割引 | ▲ 2,093 | ▲ 2,093 |     | ▲ 2,093 | ▲ 2,093 | ▲ 50,232 |
| 合計       | 7,953   | 7,953   |     | 7,953   | 7,953   | 190,872  |

## MNP転入の場合

|          | 1ヶ月目     | 2ヶ月目    | ... | 23ヶ月目   | 24ヶ月目   | 合計       |
|----------|----------|---------|-----|---------|---------|----------|
| 通信料金     | 6,500    | 6,500   |     | 6,500   | 6,500   | 156,000  |
| 端末代      | 0        | 0       |     | 0       | 0       | 0        |
| キャッシュバック | ▲ 20,000 | -       |     | -       | -       | ▲ 20,000 |
| 月額通信料金割引 | ▲ 2,771  | ▲ 2,771 |     | ▲ 2,771 | ▲ 2,771 | ▲ 66,504 |
| 合計       | ▲ 16,271 | 3,729   |     | 3,729   | 3,729   | 69,496   |

MNP転入との  
累計支払額の差は、  
120,752円

月額料金は  
2年間平均で  
2,856円

月額料金割引の額は  
機種変更より678円増額

### 【前提】

端末代金85,104円 (iPhone6 64GBモデル及びXperiaZ4の例) (3社平均※1)

毎月の通信料値引きサポート:2,093円(機種変更者用)又は2,771円(MNP転入者用) (3社平均※1)

料金プランは音声通話かけ放題、データ通信2GBのプラン(6,500円)

○機種変更:各社のオンラインショップから購入。割引は通信料値引きサポートのみ

○MNP利用:代理店申し込みで他社からMNPで転入。一括0円(※2)かつ2万円キャッシュバック

※1 出典:競争評価2014

※2 一括0円

端末代金全額をキャッシュバックし、  
さらに毎月の通信料金を値引きサポート

## 補助金の差別支給禁止(第3条)

移動通信事業者、代理店等は、契約形態、サービスプラン、利用者の条件等により不当に差別的な補助金(購入支援を目的に利用者に支払われる費用)を支給してはならない。

## 補助金の過剰支給制限(第4条)

移動通信事業者は、放送通信委員会の定める上限(33万ウォン※公告による)を上回る補助金を支給してはならない(発売後15ヶ月を経過した端末を除く)。代理店等はこれに加えて15%までの追加補助金を支給できる(合計37万9,500ウォン)。移動通信事業者、代理店等はこれらの額を利用者に明示しなければならない。

## 補助金と連動した個別契約の禁止(第5条)

利用規約とは別に補助金を支払う条件として、特定の料金プラン等を一定期間使用する義務を課し、違反時に違約金を支払わせるような個別契約を締結してはならず、無効である。

## 補助金を受けない契約者にも補助金と同等の割引を義務化(第6条)

端末購入時に補助金を受けられなかった利用者や、中古端末などを別途調達して通信回線の契約のみを行う利用者に対しても、補助金と同等の料金割引(20% ※公告による)などを提供しなければならない。

## 公正な流通環境づくり(第8条、第9条)

販売店は移動通信事業者の承諾に基づき代理店が選任する(通信事業者—代理店—販売店—利用者 の構図)。移動通信事業者は代理店、販売店の状況を四半期ごとに報告。移動体通信事業者は、販売代理店との協定についての標準協定書を用意して未来創造科学部長官に申告しなければならない。

移動通信事業者、メーカーは差別的な補助金を支給したり特定の料金プランに契約させるよう代理店等を誘導してはいけない。

## 7. MVNOの現状

- MVNO※1とは、電波の割当てを受けてサービスを提供する電気通信事業者(MNO)から無線ネットワークを調達して、自社ブランドのモバイルサービスを提供する電気通信事業者。
- 独自サービス型SIMの契約数は増加傾向で326万。※2

※1 Mobile Virtual Network Operator（仮想移動体電気通信事業者）の略。携帯基地局などの設備を保有しないため「仮想」と呼ばれる。

※2 独立系MVNO事業者がSIMカードを活用し、独自の料金プランで提供する個人/法人向けの各種サービスを指す（MM総研調べ）。

## MVNOサービスのイメージ

### 【MVNOサービスの利用方法】

- ・ 電話番号や契約者情報等を登録したSIMカードを受け取り
- ・ 利用者のスマホ端末などに差し込み、データ通信等を実施

利用者の端末※3



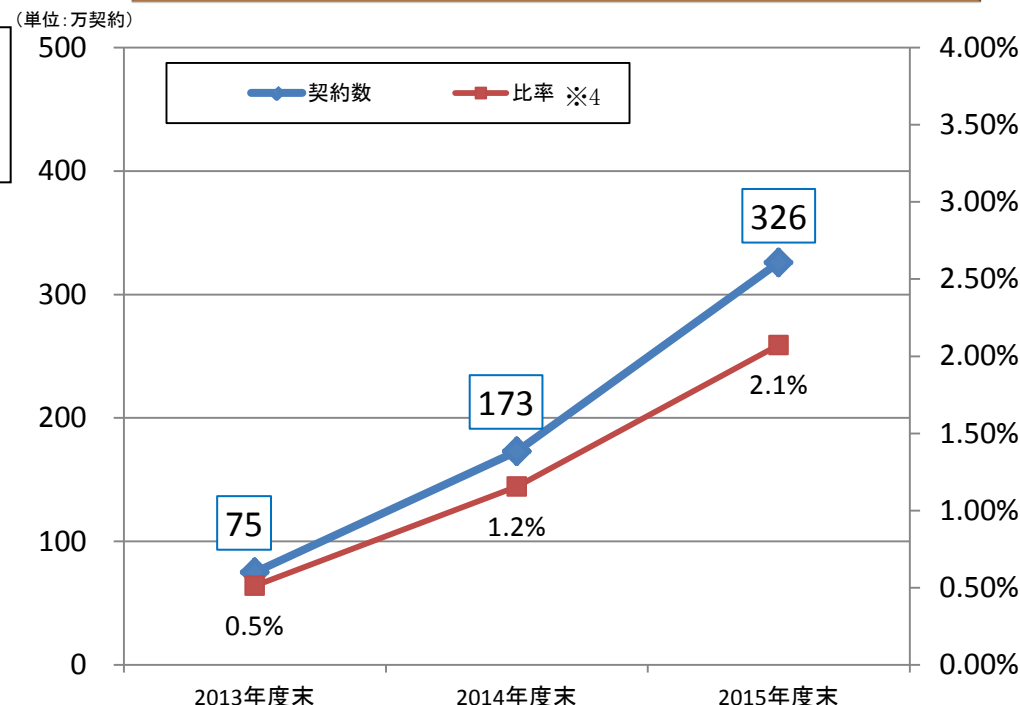
MVNOブランドのSIMカード



### 【最近のMVNOサービス普及の動向】

- ・ 通話サービスを本格的に開始したこと
  - ・ 大手小売店が端末とSIMカードを店舗でセットで販売を開始したこと
- などによって、既存のMNOサービスに近づいたことで普及

## 独自サービス型SIMの契約数※2及び契約数比率※4

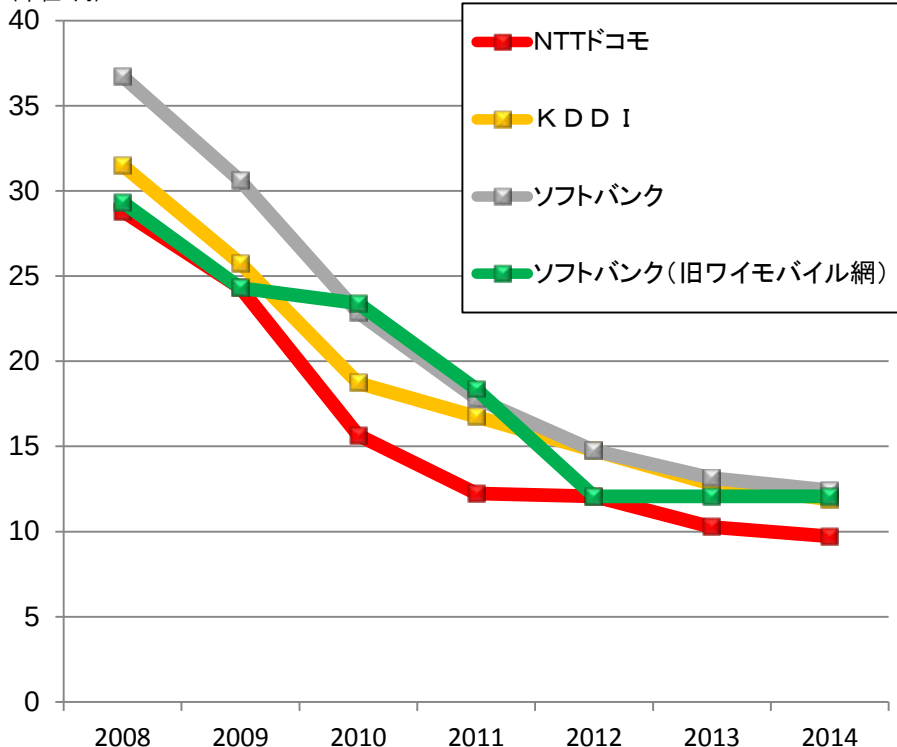


※4 携帯電話・PHS・BWA（グループ内取引調整後）に占める独自サービス型SIMの契約数の比率。

# 携帯接続料の動向

## 音声接続料(区域内)の推移(3分当たり)

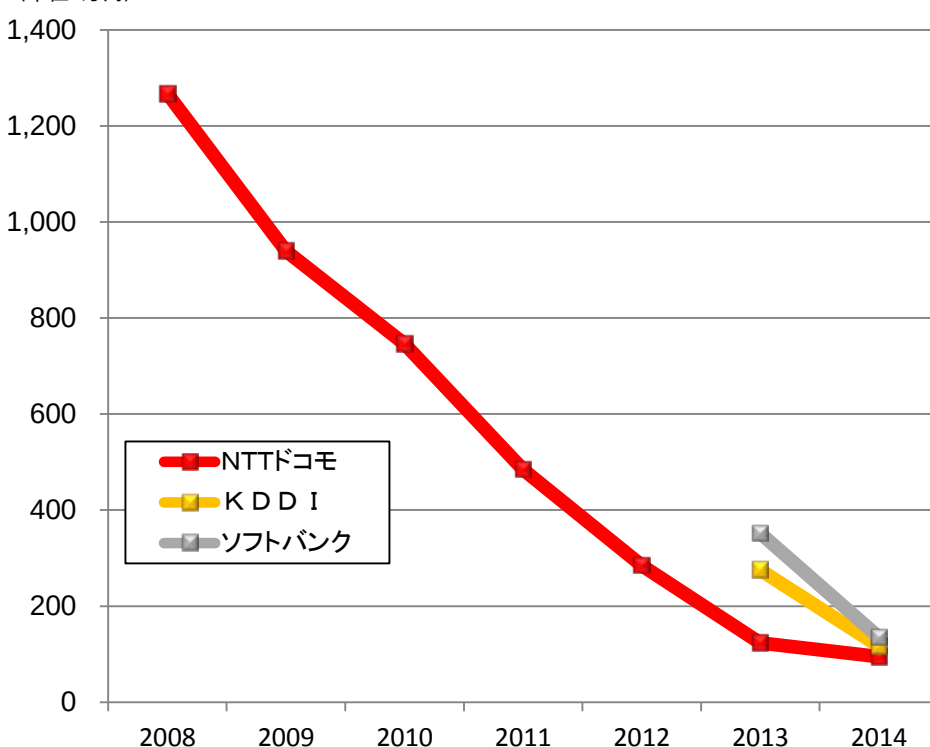
(単位:円)



| 年度<br>単位:円 | 2008  | 2009  | 2010  | 2011  | 2012  | 2013  | 2014  |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| NTTドコモ     | 28.8  | 24.3  | 15.66 | 12.24 | 12.06 | 10.26 | 9.72  |
| KDDI       | 31.5  | 25.74 | 18.72 | 16.74 | 14.76 | 12.78 | 11.88 |
| SB         | 36.72 | 30.6  | 22.86 | 17.82 | 14.76 | 13.14 | 12.42 |
| SB(旧YM)※   | 29.34 | 24.3  | 23.4  | 18.36 | 12.06 | 12.06 | 12.06 |

## データ接続料の推移(レイヤ2接続、10Mbps当たり・月額)

(単位:万円)



| 年度<br>単位:円 | 2008       | 2009      | 2010      | 2011      | 2012      | 2013      | 2014      |
|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| NTTドコモ     | 12,671,760 | 9,396,038 | 7,458,418 | 4,843,632 | 2,846,478 | 1,234,911 | 945,059   |
| KDDI       | —          | —         | —         | —         | —         | 2,751,142 | 1,166,191 |
| SB         | —          | —         | —         | —         | —         | 3,517,286 | 1,352,562 |

※1 各年度の音声接続料は、概ね各年度末に「前年度実績値」に基づき算定された接続料の変更届出がなされ、各年度の期首に遡及して精算される。

※2 各年度のデータ接続料については、2014年3月の「第二種指定電気通信設備制度の運用に関するガイドライン」の改正により、概ね各年度末に「前年度実績値」に基づき算定された接続料の変更届出がなされ、前年度の期首に遡及して精算される。

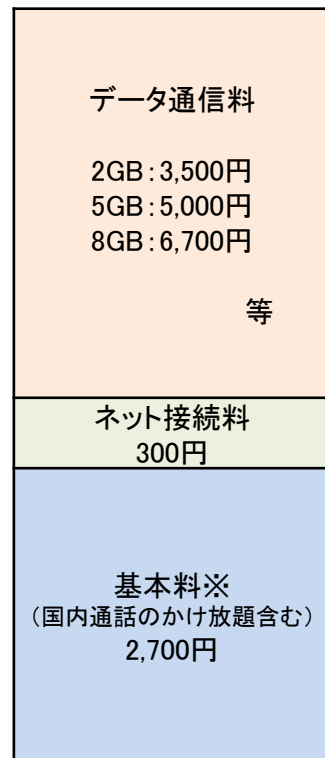
※3 ソフトバンクの旧ワイモバイル網は、2013年度までは旧イー・アクセスの網であったもの。2013年度に旧イー・アクセス及び旧ウィルコムが合併・商号変更し、旧ワイモバイルへ。2015年4月1日付けで旧ワイモバイルが旧ソフトバンクモバイルへ吸収合併。2015年7月1日付けで旧ソフトバンクモバイルが商号変更し、ソフトバンクとなり、現在に至る。

- 大手携帯電話事業者は、2014年夏から通話料定額・データ通信料金の多段階化を軸とする新料金プランを導入。
- MVNOは、接続料の低廉化を背景に、月額千円台のサービスの提供を開始。

## 大手携帯電話事業者

NTTドコモ、ソフトバンクで共通

6,500円/月～



KDDI

6,200円/月～

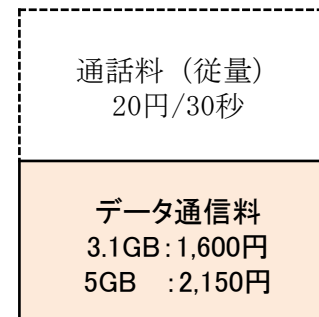


## MVNO(データ+通話プラン)

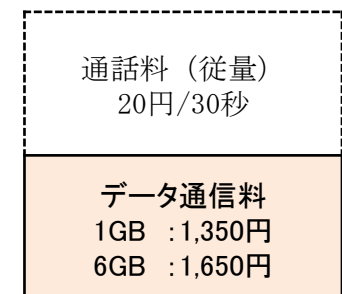
楽天モバイル(フュージョン)

イオンスマホ(ビッグローブ)

1,600円/月～  
+通話料



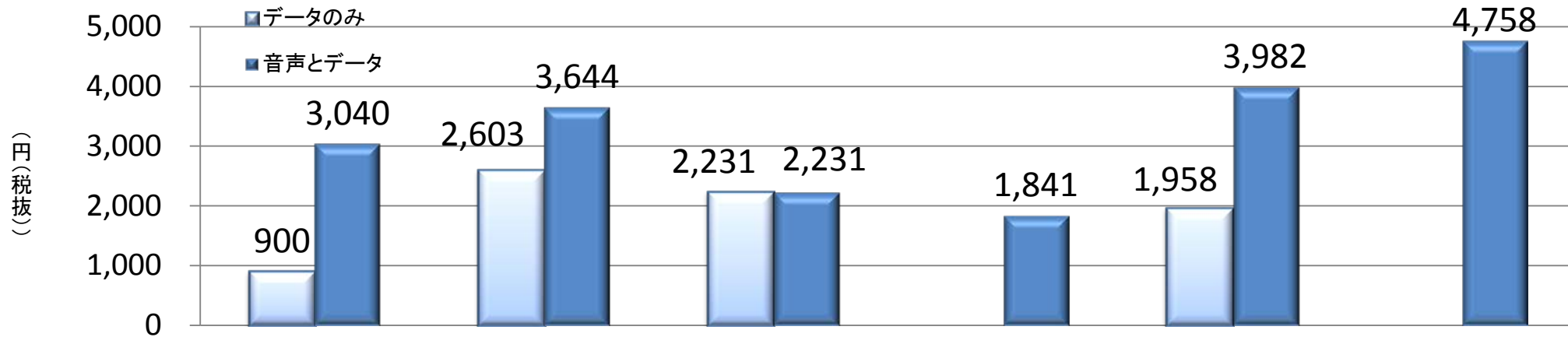
1,350円/月～  
+通話料



※ 各社は本年9月より、基本料1,700円のプランも提供開始。  
5分以内の国内通話が無料(回数制限なし)。5分を超えた場合は20円/30秒。2GBのプランとの組み合わせ不可(NTTドコモは10GBのプランとの組み合わせも不可。)

(料金は税抜)

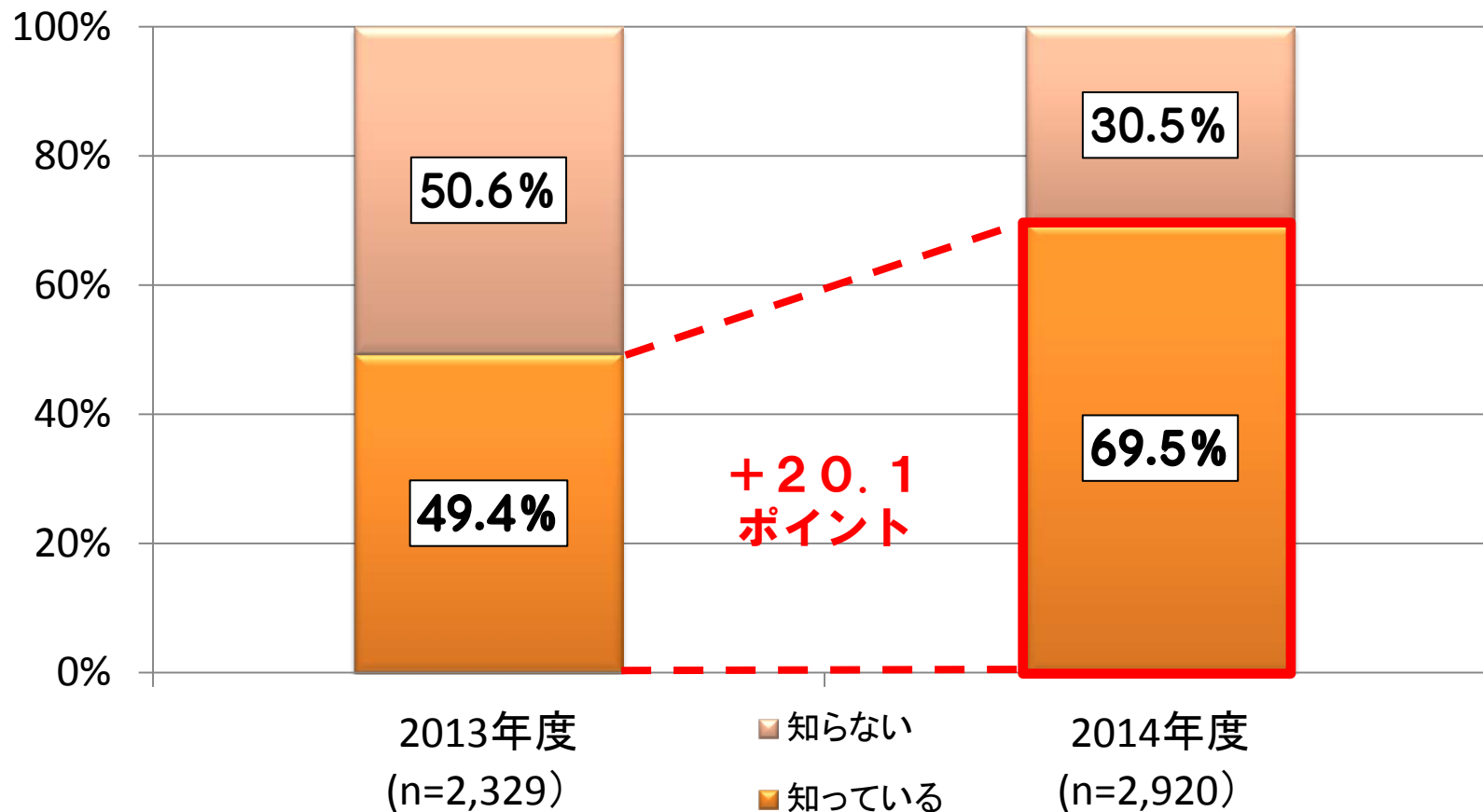
- 日本のMVNOのデータ通信料金は、主要国の中でも最も低廉な水準。
- 一方、日本のMVNOの音声とデータ込みの料金は、主要国の中では中位の水準。



|            | 日本     |                         | 米国                     |                            | 英国                  |                        | 仏国            | 独国       |                         | 韓国                           |
|------------|--------|-------------------------|------------------------|----------------------------|---------------------|------------------------|---------------|----------|-------------------------|------------------------------|
| 事業者名       | フュージョン |                         | Virgin Mobile USA      |                            | Virgin Mobile U.K.  |                        | Virgin Mobile | Congstar |                         | SKTelink                     |
| プラン名       | 楽天モバイル |                         | BROADBAND<br>2GO plans | UNLIMITED<br>PLANS         | Big Data &<br>Texts | Pay Monthly<br>taiffs  | FORFAITS 4G   | Daten M  | Prepaid<br>Smart S      | USIM LTE 39                  |
| 料金<br>(税抜) | 900円/月 | 3040円/月                 | \$ 25/月                | \$ 35/月                    | £15/月               |                        | €14.99/月      | €14.99/月 | €30.49                  | ₩39,000/月                    |
| プラン<br>内容  | 3. 1GB | 3. 1GB<br>音声20円<br>/30秒 | 1. 5GB                 | 2. 5GB<br>音声300分<br>SMS無制限 | 3GB<br>SMS<br>3000通 | 3GB<br>音声無制限<br>SMS無制限 | 3GB<br>音声180分 | 2GB      | 3GB<br>音声50分<br>SMS 50通 | 1. 6GB<br>音声180分<br>SMS 200通 |

※ 購買力平価による比較: 1ドル=104.1円、1ポンド=148.7円、1ユーロ(仏)=122.8円、1ユーロ(独)=130.6円、1ウォン=0.122円  
通話とセット利用のモデルは、音声月36分、メール月90通、データ月2GBに最も近いプランを選択

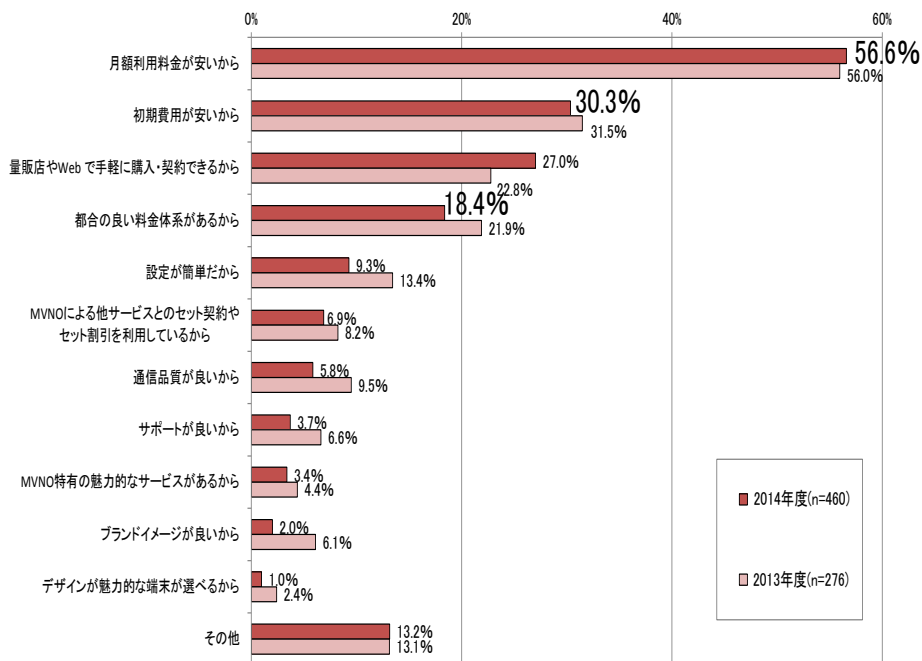
- MVNOの認知度についてアンケートを行ったところ、「知っている」と回答した者の割合が2013年度では49.4%であったが、2014年度では69.5%と大幅に上昇(+20.1ポイント)。



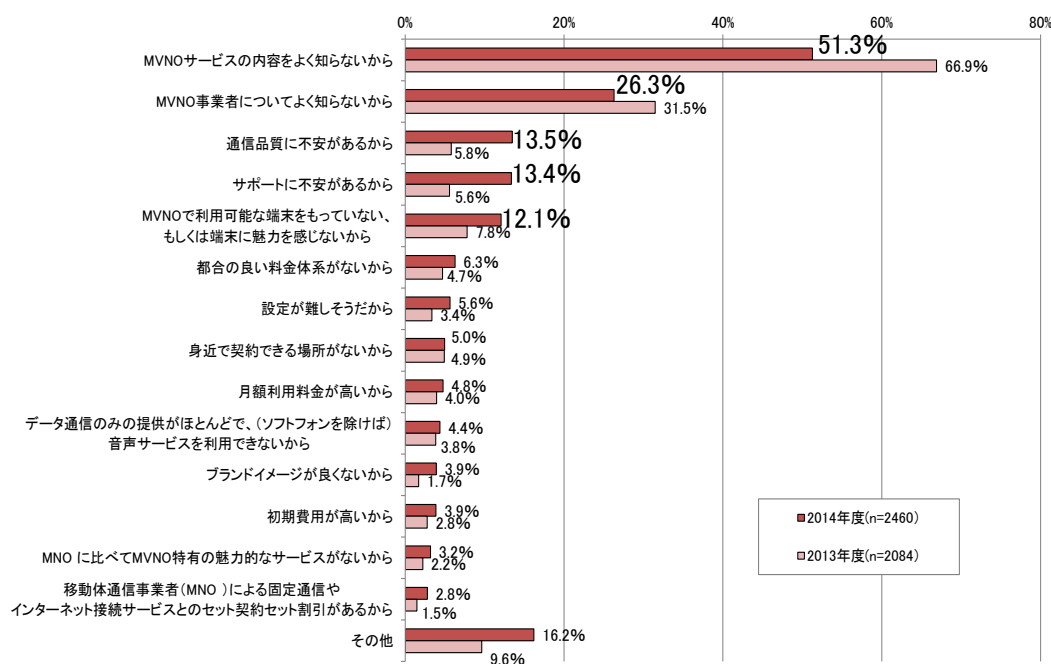
# MVNOを利用する理由・しない理由

- MVNOサービスの利用者が同サービスを利用する理由としては、「月額利用料金の安さ(56.6%)」、「初期費用の安さ(30.3%)」、「都合の良い料金体系(18.4%)」等の料金面が大半を占めている。
- MVNOサービスの非利用者が同サービスを利用しない理由として、「通信品質に不安がある(13.5%)」、「サポートに不安がある(13.4%)」、「魅力的な端末がない(12.1%)」等の品質面等に関する不安を挙げる者が増加する傾向にある。

## MVNOを利用する理由

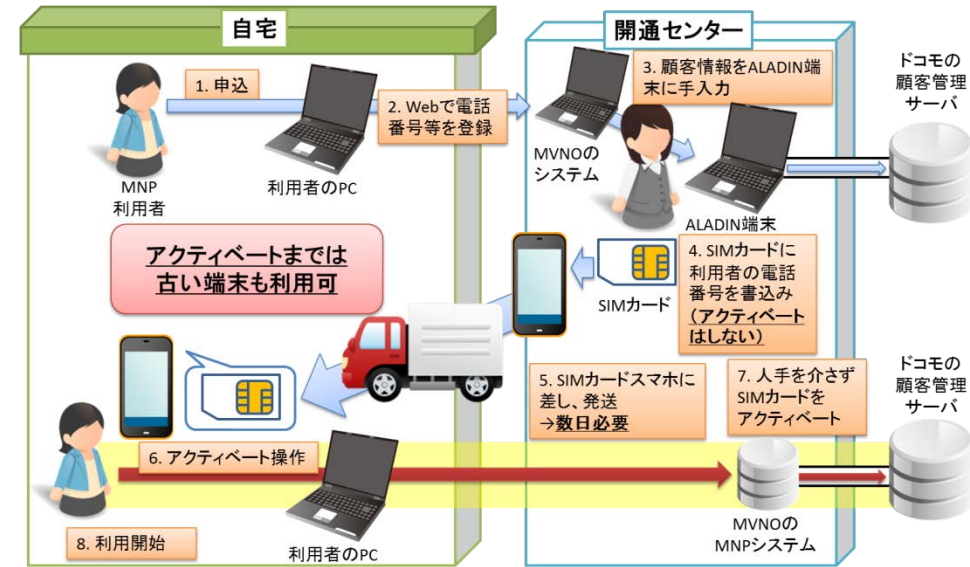


## MVNOを利用しない理由



- ①店舗申込みの場合、店舗にあらかじめ配布されたSIMに遠隔で電話番号を書き込むシステムの導入、  
②WEB申込みの場合、利用者の自宅等へSIMを配送した後、利用開始のための開通処理を遠隔で行うシステムの導入

(参考:イメージ図)



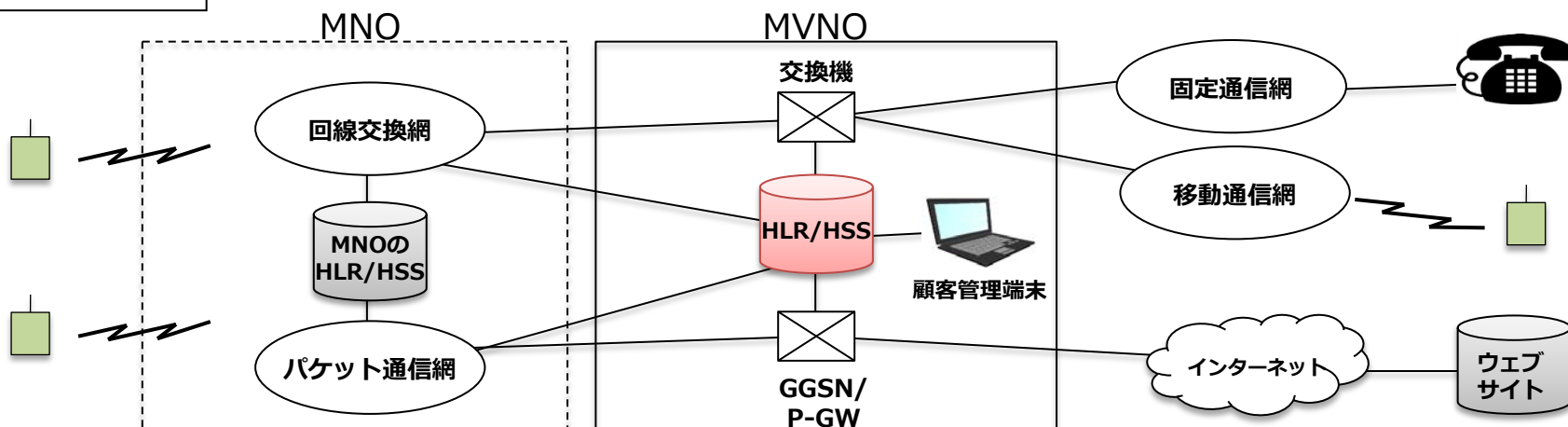
# HLR/HSSについて

- HLR (Home Location Register) / HSS (Home Subscriber Server) とは、携帯電話番号、端末の所在地、顧客の契約状況といった顧客情報を管理するデータベース。
- 英仏など諸外国では、MVNOが独自のHLR/HSSを管理し、MNOネットワークで相互運用するケースが存在。

## 【MVNOが独自HLR/HSSを運用することで実現するサービス例】

- MVNOが複数のMNOネットワークに対応したSIMを発行・管理することによる、**災害時にも対応した冗長性の高いMVNOサービス**
- MVNOがHLR/HSSにより独自に音声サービスを管理することによる、**家族割や定額料金制等の柔軟な音声サービス**
- MVNOが海外のオペレータに対応したSIMを発行することにより、**SIMの差し替えなく現地の価格で通信サービスを利用**
- 顧客管理システムとSIMカード発行機能をMVNOが独自管理することによる、**より最適化された販売方式** (独自SIM発行等) **や端末機能** (SIMカードからAPN自動設定等)

## MVNOによる 独自HLR/HSS運用イメージ



## 第二 3つのアクションプラン

### 一. 日本産業再興プラン

#### 4. 世界最高水準のIT 社会の実現

##### (3) 新たに講ずべき具体的施策

##### v) 未来社会を支える情報通信環境整備

##### ② モバイル分野の競争促進・利用環境整備

モバイル分野における競争促進・利用環境整備に向けて、携帯電話の期間拘束・自動更新付契約に関して、主要携帯電話事業者による契約解除料を支払うことなく解約が可能な期間の延長や、更新月のプッシュ型通知の本年中の実現を推進する。さらに、こうした取組の推進と併せて、期間拘束・自動更新付契約の在り方についても検討を行い、本年中に結論を得る。

また、携帯電話番号ポータビリティを利用したMVNOへの乗換手続の迅速化を本年度中に実現することによって、利用者が即時にMVNOサービスを利用できる環境を整備する。

さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた訪日外国人向けSIMカード販売や、IoT時代のM2Mサービスなど、多様で廉価で豊かなサービス提供を通じて利用者利便の向上に資するため、MVNOによる加入者管理機能の保有・運用を含めたモバイルネットワークの機能の開放について、主要先進諸国におけるMVNOに関する制度・運用状況を参考にしつつ、事業者間協議を促し、検討を進める。

## 8. 検討課題

## 1. 利用者のニーズや利用実態を踏まえた料金体系

- データ通信のライトユーザや通話の「かけ放題」が不要な人等のニーズに対応した料金プランとなっているか。

## 2. 端末価格からサービス・料金を中心とした競争への転換

- 携帯電話端末の販売と通信契約が一体化し、通信料金割引と端末購入割引を通じた端末価格を中心とした競争となっているところ、利用者にとって端末価格と通信料金との関係が分かりにくいものとなっていないか。
- MNPを頻繁に行う利用者や端末を買い替える利用者に様々な形での優遇がある中、端末を買い替えない長期契約者、さらにはSIMロックフリー端末を自分で購入して契約する利用者等との間の公平性についてどのように考えるか。

## 3. MVNOサービスの低廉化・多様化を通じた競争促進

- MVNOサービスの更なる低廉化・多様化を図っていくため、どのような方策が必要か。